

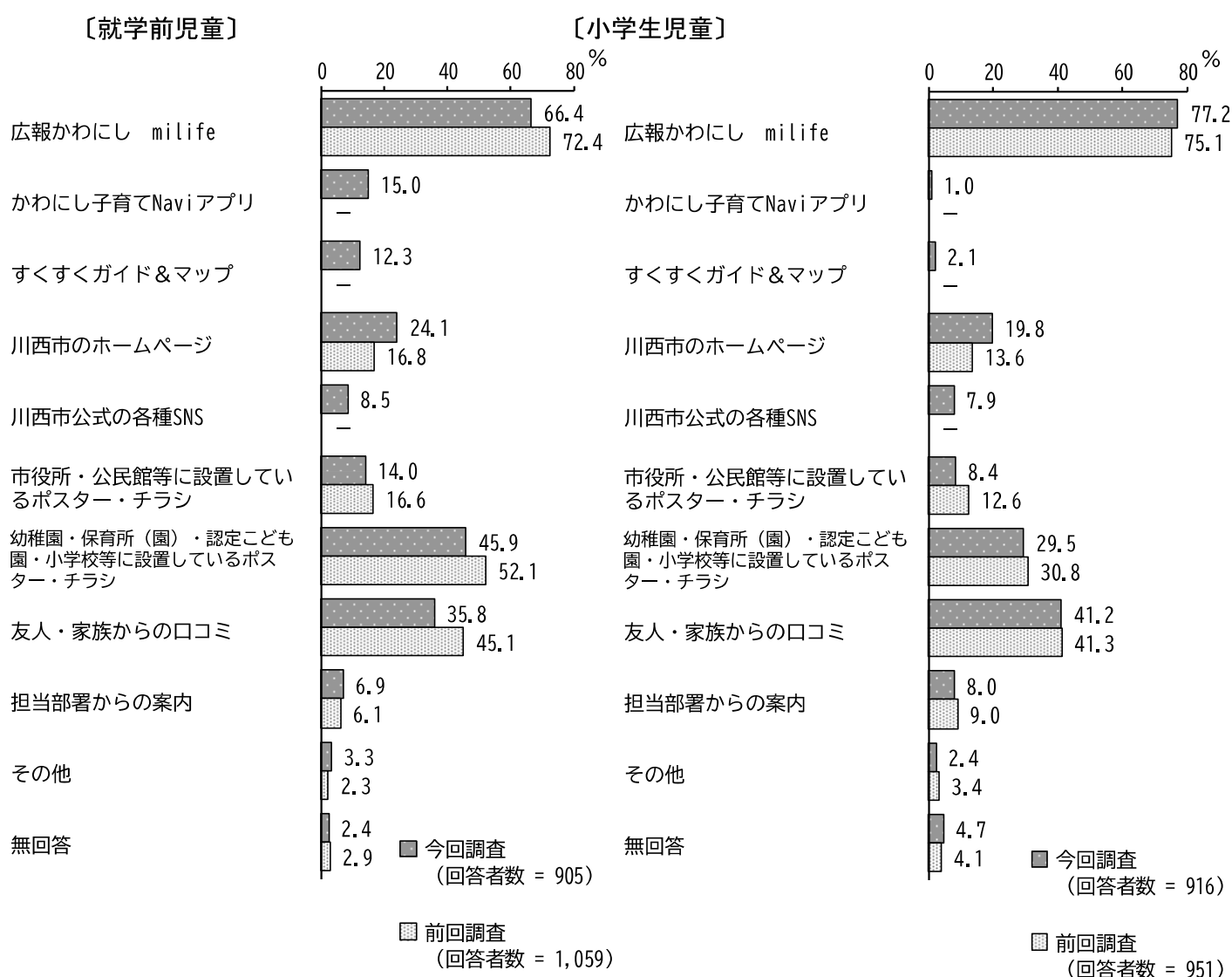
6 川西市の子ども・子育て支援について

(1) 川西市が実施している子育て支援サービスの情報入手方法〈複数回答〉

【就学前児童：問6-1】【小学生児童：問5-1】

就学前児童では、「広報かわにし milife」の割合が66.4%と最も高く、次いで「幼稚園・保育所（園）・認定こども園・小学校等に設置しているポスター・チラシ」の割合が45.9%、「友人・家族からの口コミ」の割合が35.8%となっています。

小学生児童では、「広報かわにし milife」の割合が77.2%と最も高く、次いで「友人・家族からの口コミ」の割合が41.2%、「幼稚園・保育所（園）・認定こども園・小学校等に設置しているポスター・チラシ」の割合が29.5%となっています。



※「かわにし子育てNavi アプリ」「すくすくガイド&マップ」「川西市公式の各種 SNS」の選択肢は、今回調査より新たに追加されました。

(2) 川西児童館（総合センター）の利用状況

【就学前児童：問6－2】【小学生児童：問5－2】

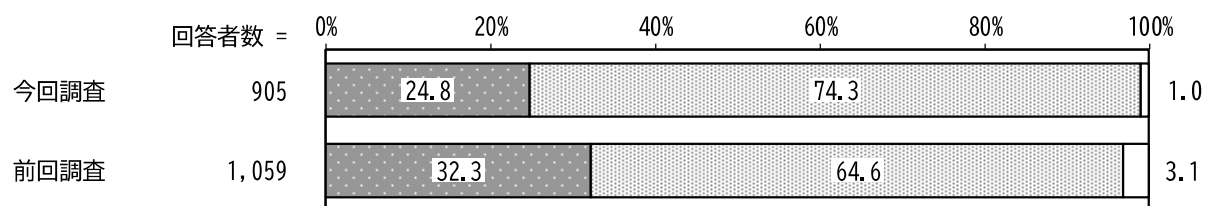
①現在の利用状況〈単数回答〉

就学前児童では、「利用したことがない」の割合が高く 74.3%となっています。

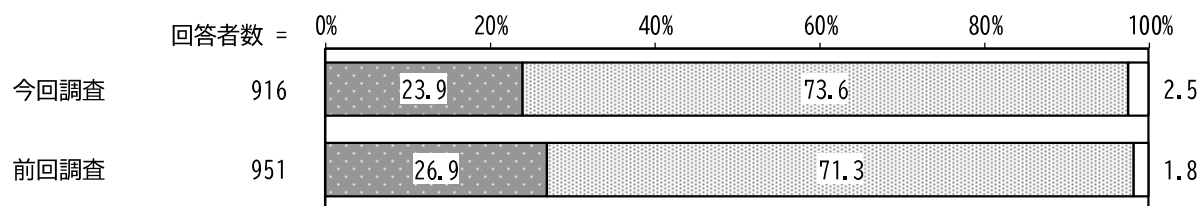
小学生児童では、「利用したことがない」の割合が高く 73.6%となっています。

■ 利用したことがある ▨ 利用したことがない □ 無回答

〔就学前児童〕



〔小学生児童〕



※前回調査の値は、川西児童館と久代児童センターの合計値となっているため、今回調査と対象が異なります。

「利用したことがある」を選んだ方

月当たりの利用回数〈数量回答〉

〔就学前児童〕

就学前児童では、「1回」の割合が45.5%と最も高くなっています。

小学生児童では、「1回」の割合が35.2%と最も高くなっています。

単位：％

区分		回答者数 (件)	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回 以上	無 回 答
就 学 前 児 童	今回調査	224	45.5	7.6	1.3	0.9	2.2	42.4
	前回調査	342	47.7	11.4	8.2	6.1	4.4	22.2
小 学 生 児 童	今回調査	219	35.2	8.7	0.9	5.0	3.2	47.0
	前回調査	256	39.8	10.2	4.3	5.1	4.3	36.3

※前回調査の値は、川西児童館と久代児童センターの合計値となっているため、今回調査と対象が異なります。

「利用したことがない」を選んだ方

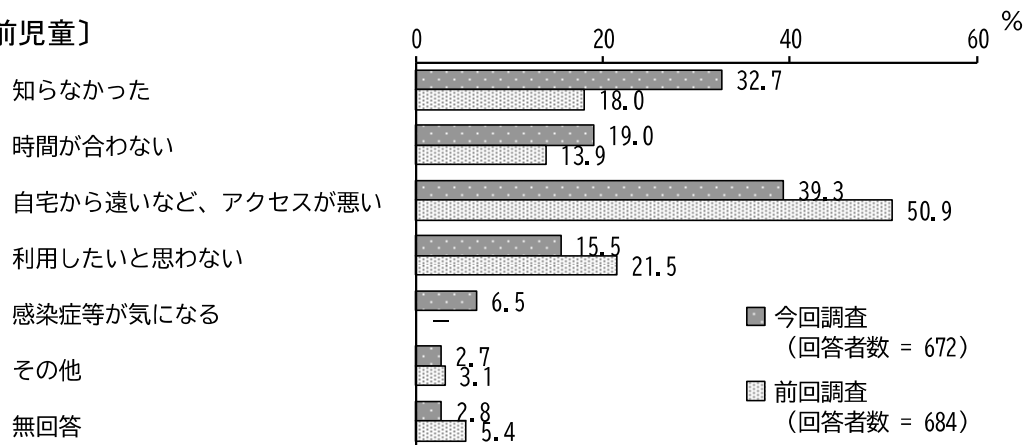
②利用したことがない理由

就学前児童では、「自宅から遠いなど、アクセスが悪い」の割合が39.3%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が32.7%、「時間が合わない」の割合が19.0%となっています。

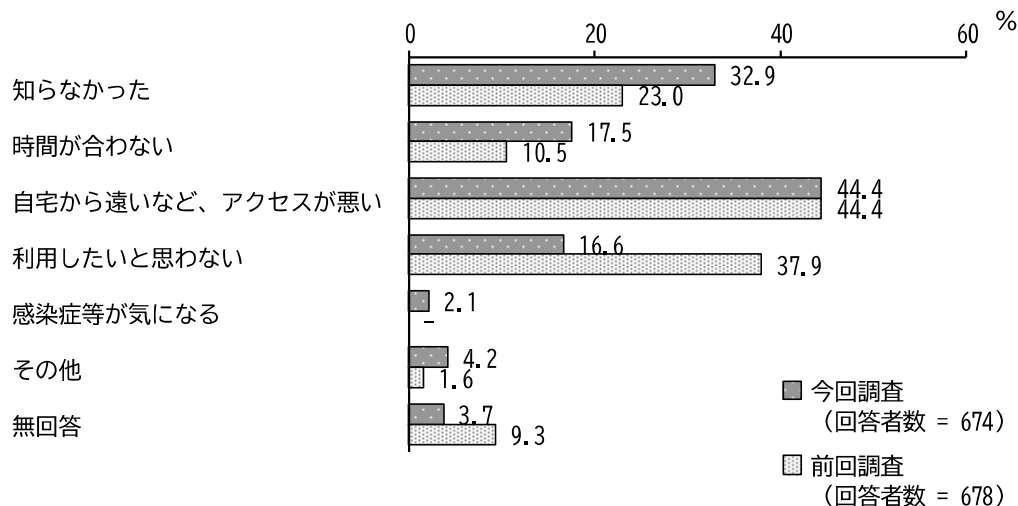
前回調査と比較すると、「知らなかった」「時間が合わない」の割合が増加しています。一方、「自宅から遠いなど、アクセスが悪い」「利用したいと思わない」の割合が減少しています。

小学生児童では、「自宅から遠いなど、アクセスが悪い」の割合が44.4%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が32.9%、「時間が合わない」の割合が17.5%となっています。

〔就学前児童〕



〔小学生児童〕



※前回調査の値は、川西児童館と久代児童センターの合計値となっているため、今回調査と対象が異なります。

③今後の利用希望

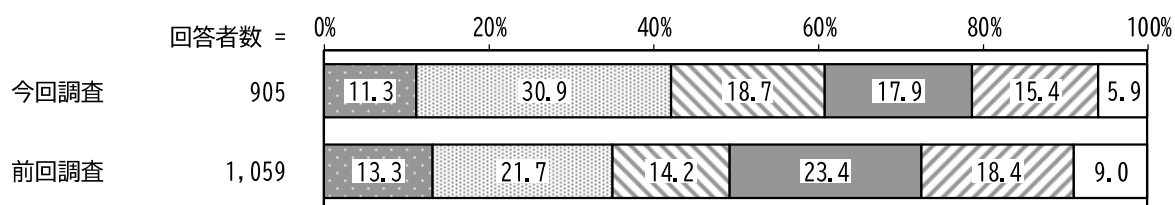
就学前児童では、「できたら利用したい」の割合が30.9%と最も高く、次いで「あまり利用しない」の割合が18.7%、「利用しない」の割合が17.9%となっています。

前回調査と比較すると、「できたら利用したい」の割合が増加しています。一方、「利用しない」の割合が減少しています。

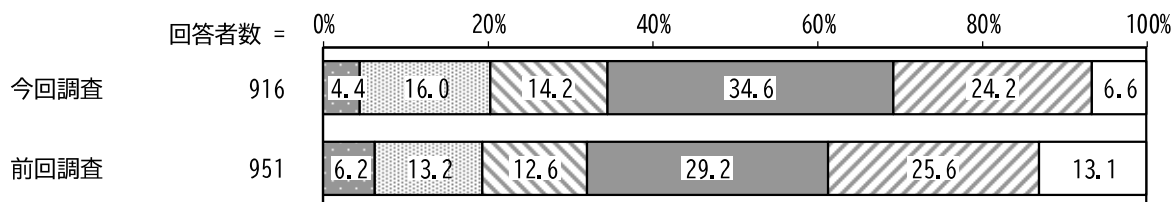
小学生児童では、「利用しない」の割合が34.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が24.2%、「できたら利用したい」の割合が16.0%となっています。

■ 利用したい ■ できたら利用したい ■ あまり利用しない
■ 利用しない ■ わからない □ 無回答

〔就学前児童〕



〔小学生児童〕



※前回調査の値は、川西児童館と久代児童センターの合計値となっているため、今回調査と対象が異なります。

(3) 久代児童センターの利用状況

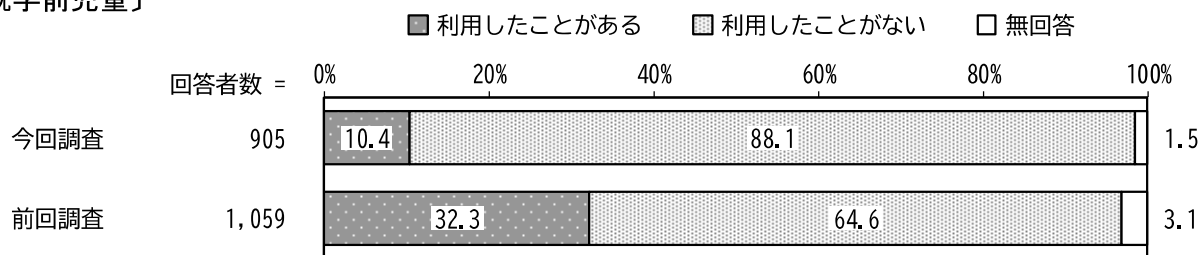
【就学前児童：問6－2】【小学生児童：問5－2】

①現在の利用状況〈単数回答〉

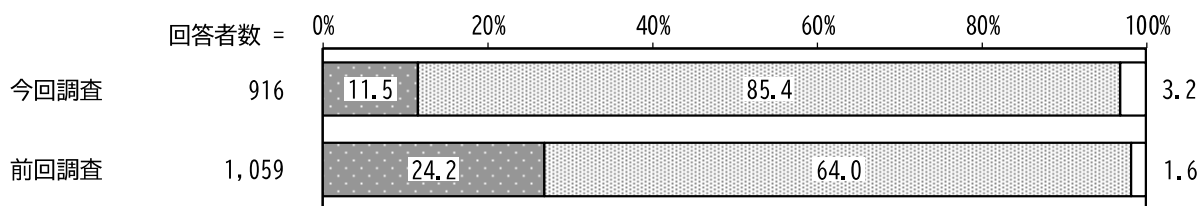
就学前児童では、「利用したことがない」の割合が高く 88.1%となっています。

小学生児童では、「利用したことがない」の割合が高く 85.4%となっています。

〔就学前児童〕



〔小学生児童〕



※前回調査の値は、川西児童館と久代児童センターの合計値となっているため、今回調査と対象が異なります。

「利用したことがある」を選んだ方

月当たりの利用回数〈数量回答〉

〔就学前児童〕

就学前児童では、「1回」の割合が43.6%と最も高くなっています。

小学生児童では、「1回」の割合が39.0%と最も高くなっています。

単位：％

区分		回答者数 (件)	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回 以上	無 回 答
就 学 前 児 童	今回調査	94	43.6	12.8	3.2	1.1	1.1	38.3
	前回調査	342	47.7	11.4	8.2	6.1	4.4	22.2
小 学 生 児 童	今回調査	105	39.0	11.4	3.8	4.8	5.7	35.2
	前回調査	256	39.8	10.2	4.3	5.1	4.3	36.3

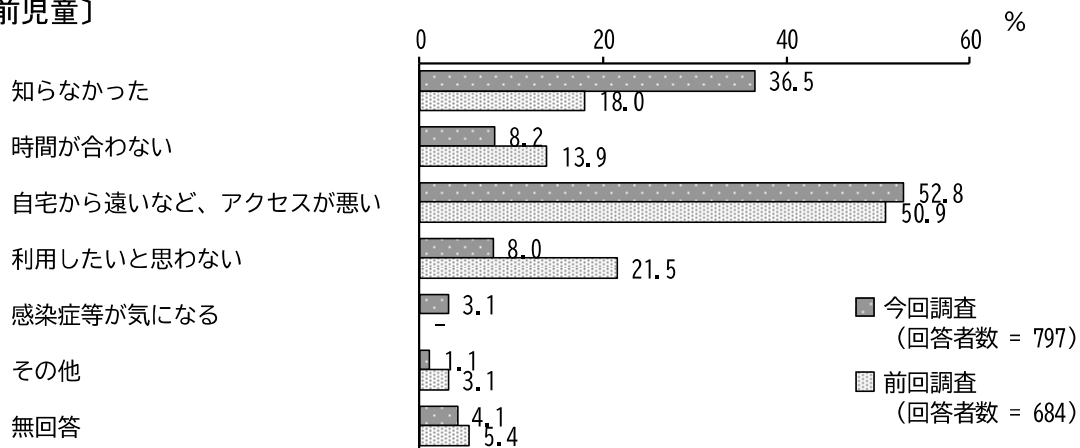
※前回調査の値は、川西児童館と久代児童センターの合計値となっているため、今回調査と対象が異なります。

②利用したことがない理由

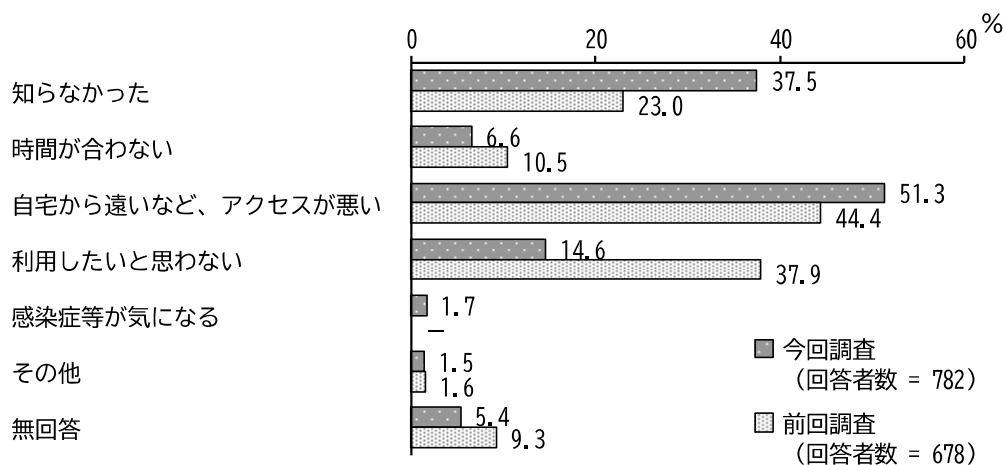
就学前児童では、「自宅から遠いなど、アクセスが悪い」の割合が52.8%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が36.5%となっています。

小学生児童では、「自宅から遠いなど、アクセスが悪い」の割合が51.3%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が37.5%、「利用したいと思わない」の割合が14.6%となっています。

〔就学前児童〕



〔小学生児童〕

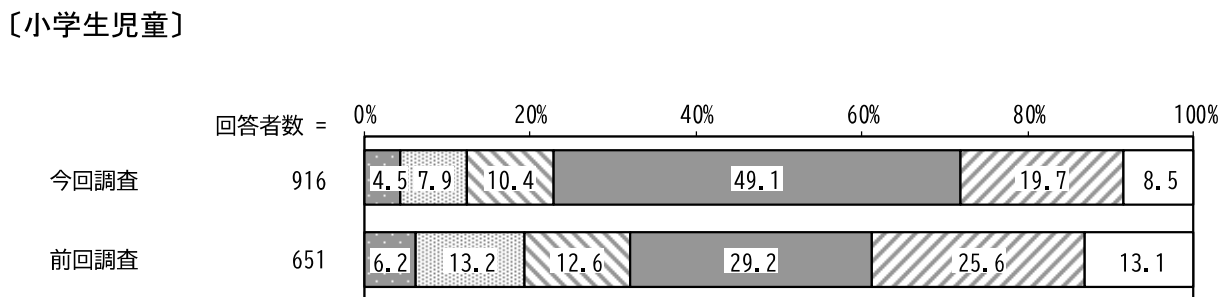
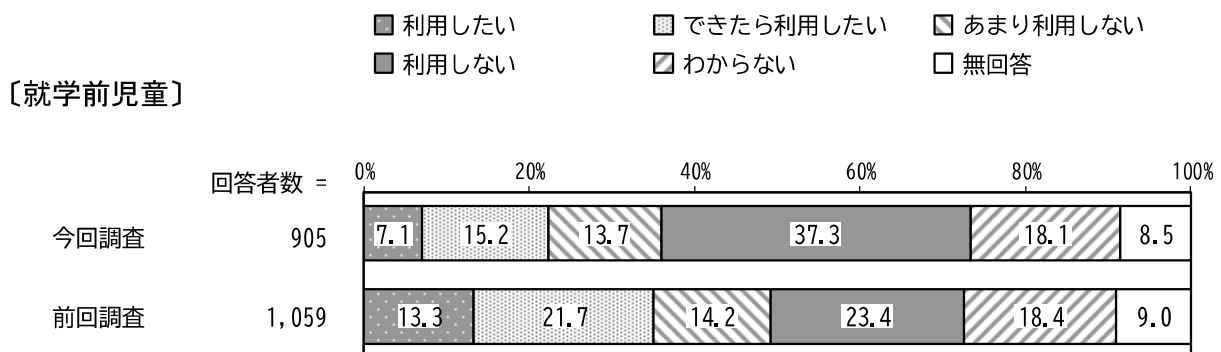


※前回調査の値は、川西児童館と久代児童センターの合計値となっているため、今回調査と対象が異なります。

③今後の利用希望

就学前児童では、「利用しない」の割合が37.3%と最も高く、次いで「わからない」の割合が18.1%、「できれば利用したい」の割合が15.2%となっています。

小学生児童では、「利用しない」の割合が49.1%と最も高く、次いで「わからない」の割合が19.7%、「あまり利用しない」の割合が10.4%となっています。



※前回調査の値は、川西児童館と久代児童センターの合計値となっているため、今回調査と対象が異なります。

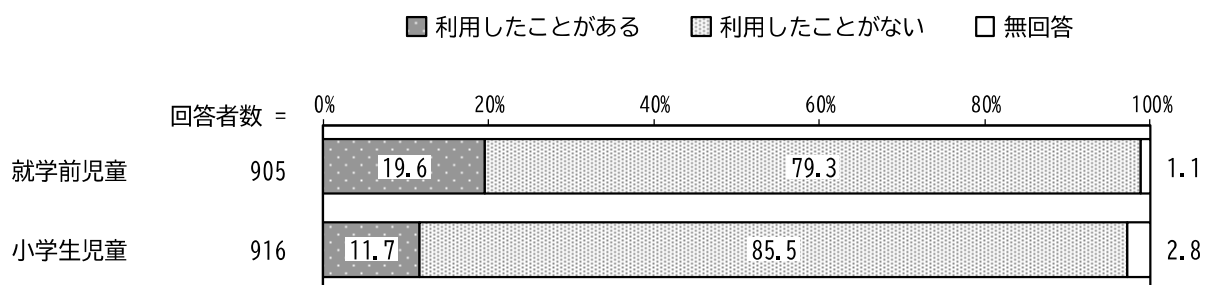
(4) こども若者相談センターの利用状況

【就学前児童：問6－2】【小学生児童：問5－2】

①現在の利用状況〈単数回答〉

就学前児童では、「利用したことがある」の割合が19.6%、「利用したことがない」の割合が79.3%となっています。

小学生児童では、「利用したことがある」の割合が11.7%、「利用したことがない」の割合が85.5%となっています。

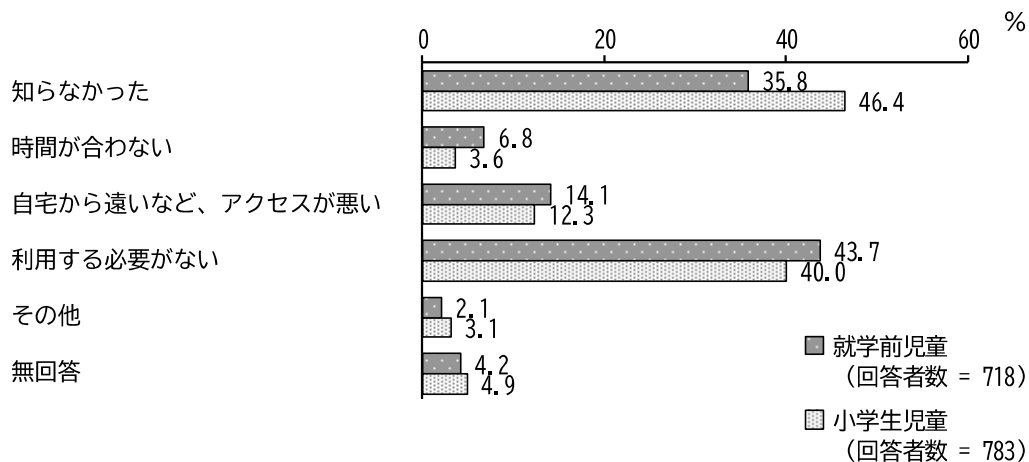


「利用したことがない」を選んだ方

②利用したことがない理由

就学前児童では、「利用する必要がある」の割合が43.7%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が35.8%、「自宅から遠いなど、アクセスが悪い」の割合が14.1%となっています。

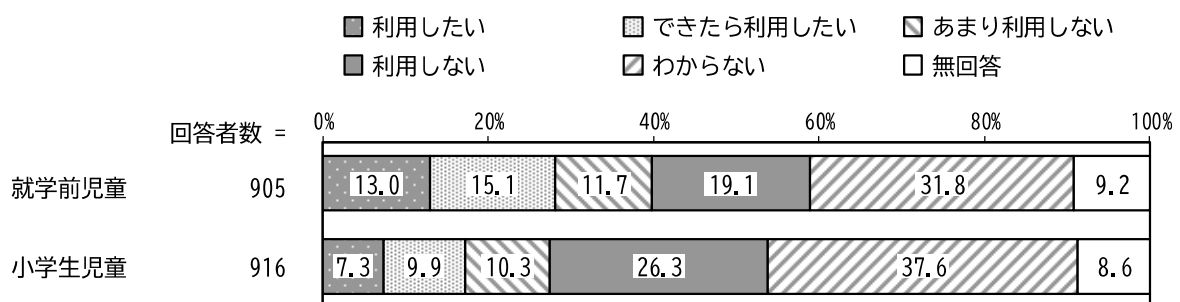
小学生児童では、「知らなかった」の割合が46.4%と最も高く、次いで「利用する必要がある」の割合が40.0%、「自宅から遠いなど、アクセスが悪い」の割合が12.3%となっています。



③今後の利用希望

就学前児童では、「わからない」の割合が31.8%と最も高く、次いで「利用しない」の割合が19.1%、「できれば利用したい」の割合が15.1%となっています。

小学生児童では、「わからない」の割合が37.6%と最も高く、次いで「利用しない」の割合が26.3%、「あまり利用しない」の割合が10.3%となっています。



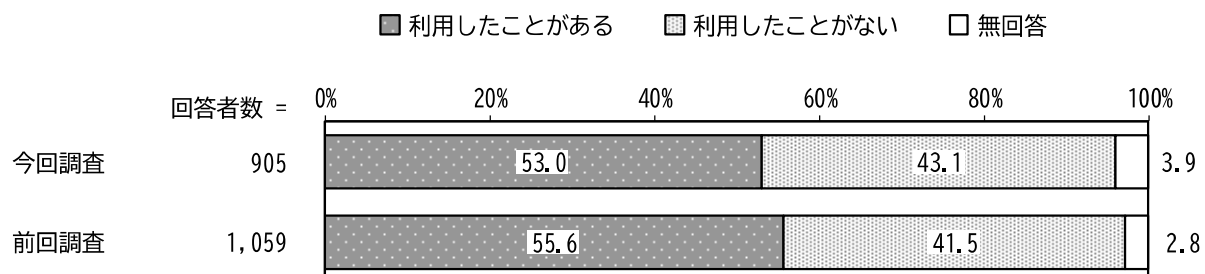
(5) 子育て支援拠点の利用状況

【就学前児童：問6-2】

①現在の利用状況〈単数回答〉

「利用したことがある」の割合が高く 53.0%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



「利用したことがある」を選んだ方

月当たりの利用回数〈数量回答〉

「1回」の割合が 37.3%と最も高く、次いで「2回」の割合が 11.5%となっています。

単位：%

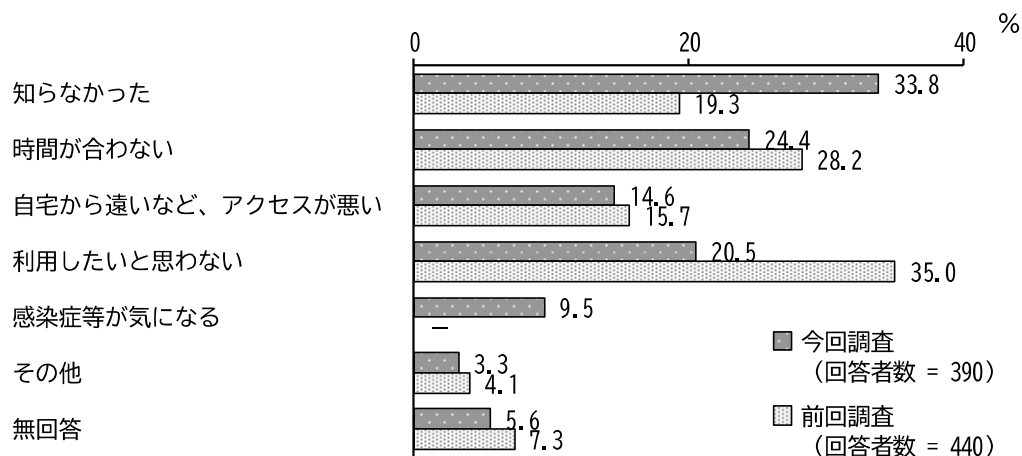
区分	回答者数 (件)	1回	2回	3回	4回	5回以上	無回答
今回調査	480	37.3	11.5	4.4	6.5	11.4	29.0
前回調査	589	43.6	14.6	5.6	8.1	8.7	19.4

「利用したことがない」を選んだ方

②利用したことがない理由

「知らなかった」の割合が33.8%と最も高く、次いで「時間が合わない」の割合が24.4%、「利用したいと思わない」の割合が20.5%となっています。

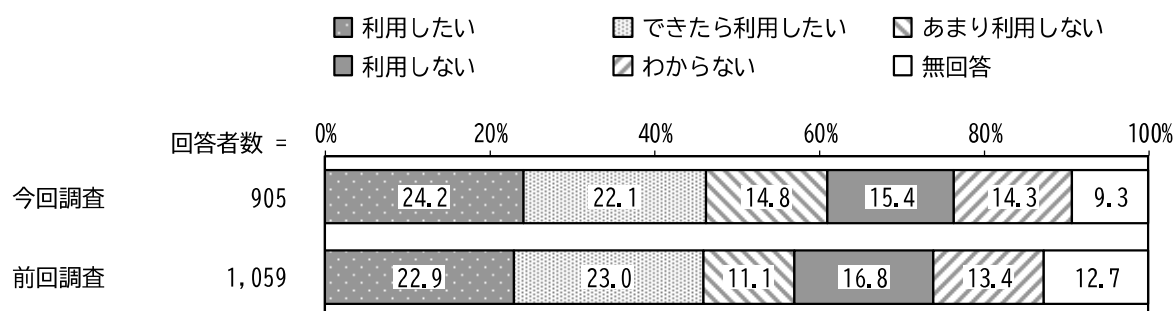
前回調査と比較すると、「知らなかった」の割合が増加しています。一方、「利用したいと思わない」の割合が減少しています。



③今後の利用希望

「利用したい」の割合が24.2%と最も高く、次いで「できたら利用したい」の割合が22.1%、「利用しない」の割合が15.4%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



(6) かわにしファミリーサポートセンターの利用状況

【就学前児童：問6－2】【小学生児童：問5－2】

①現在の利用状況〈単数回答〉

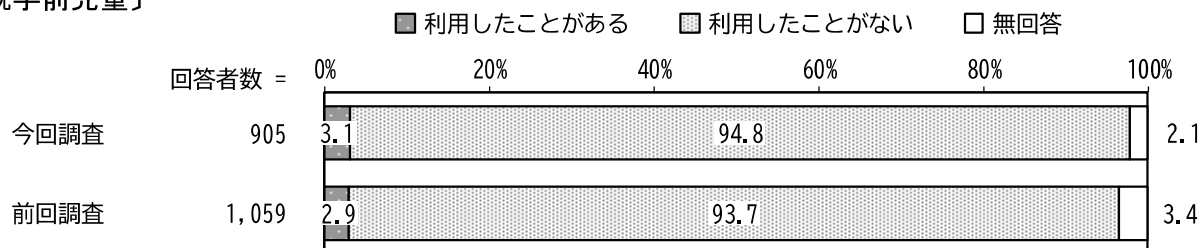
就学前児童では、「利用したことがない」の割合が高く 94.8%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

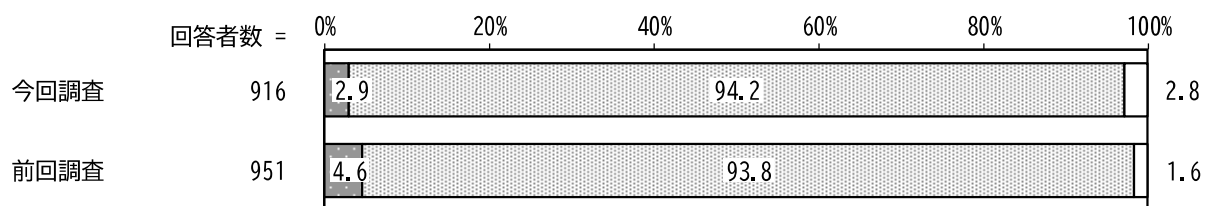
小学生児童では、「利用したことがない」の割合が高く 94.2%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

〔就学前児童〕



〔小学生児童〕



「利用したことがある」を選んだ方

月当たりの利用回数〈数量回答〉

〔就学前児童〕

就学前児童では、「1回」の割合が35.7%と最も高くなっています。

小学生児童では、「1回」の割合が14.8%と最も高く、次いで「5回以上」の割合が11.1%となっています。

単位：％

区分		回答者数 (件)	1 回	2 回	3 回	4 回	5 回 以上	無 回 答
就 学 前 児 童	今回調査	28	35.7	3.6	0.0	7.1	7.2	46.4
	前回調査	31	29.0	12.9	0.0	9.7	6.5	41.9
小 学 生 児 童	今回調査	27	14.8	3.7	3.7	0.0	11.1	66.7
	前回調査	43	20.5	13.6	2.3	9.1	9.1	45.5

「利用したことがない」を選んだ方

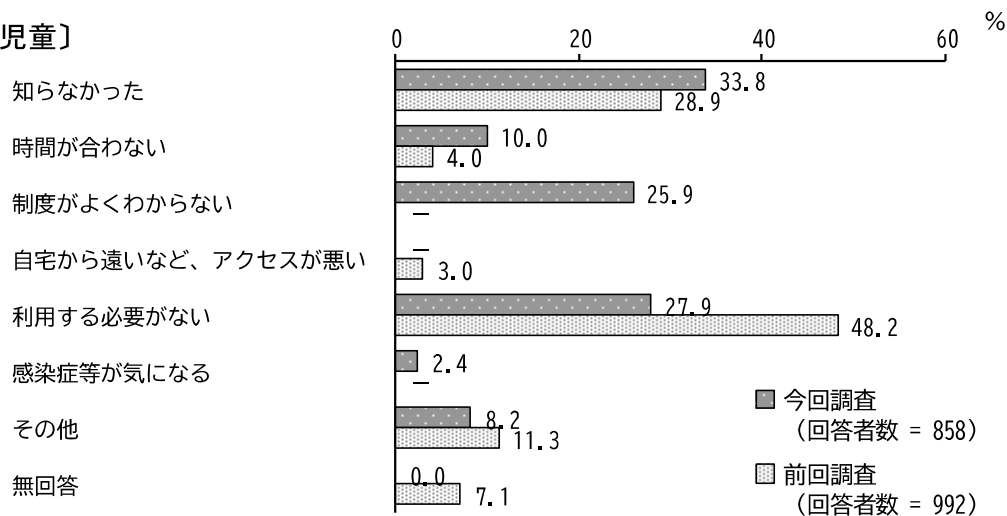
②利用したことがない理由

就学前児童では、「知らなかった」の割合が33.8%と最も高く、次いで「利用する必要がある」の割合が27.9%、「制度がよくわからない」の割合が25.9%となっています。

前回調査と比較すると、「時間が合わない」の割合が増加しています。一方、「利用する必要がある」の割合が減少しています。

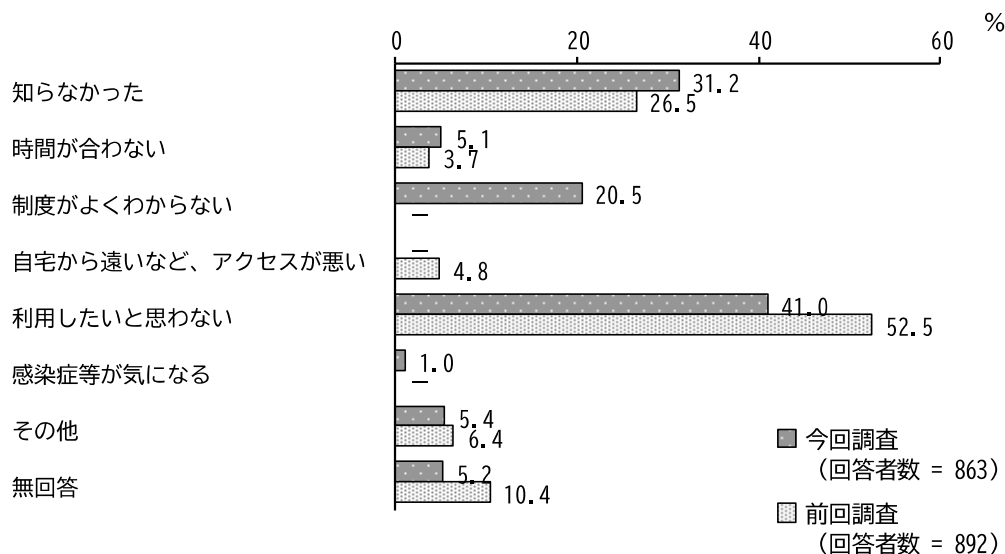
小学生児童では、「利用したいと思わない」の割合が41.0%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が31.2%、「自宅から遠いなど、アクセスが悪い」の割合が20.5%となっています。前回調査と比較すると、「自宅から遠いなど、アクセスが悪い」の割合が増加しています。一方、「利用したいと思わない」の割合が減少しています。

〔就学前児童〕



※「—」となっている選択肢は、今回調査で新たに追加された選択肢または今回調査で削除された選択肢です。

〔経年比較〕小学生児童



※「—」となっている選択肢は、今回調査で新たに追加された選択肢または今回調査で削除された選択肢です。

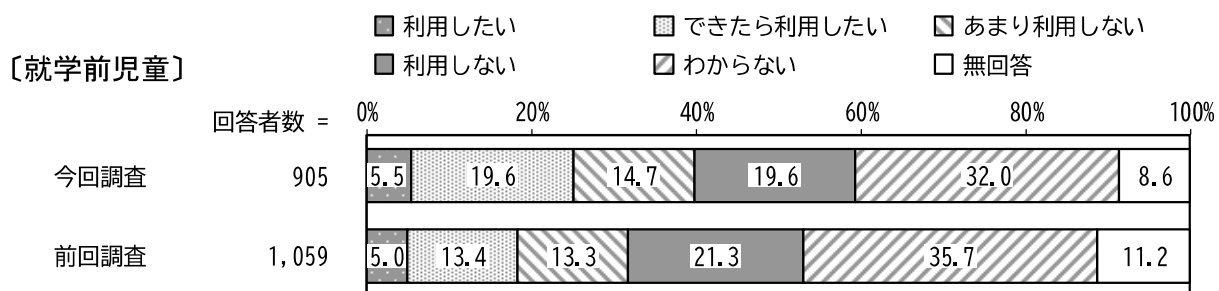
③今後の利用希望

就学前児童では、「わからない」の割合が32.0%と最も高く、次いで「できたら利用したい」、「利用しない」の割合が19.6%となっています。

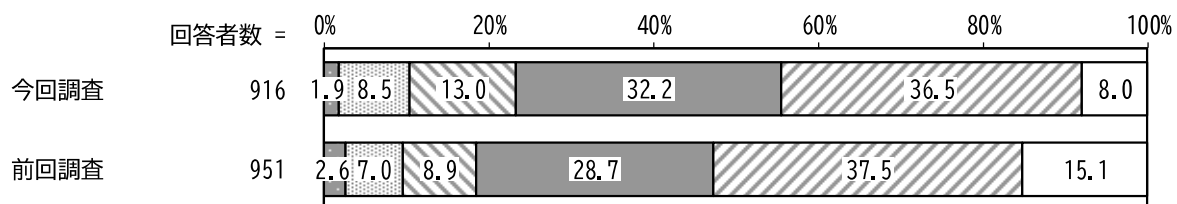
前回調査と比較すると、「できたら利用したい」の割合が増加しています。

小学生児童では、「わからない」の割合が36.5%と最も高く、次いで「利用しない」の割合が32.2%、「あまり利用しない」の割合が13.0%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【経年比較】小学生児童



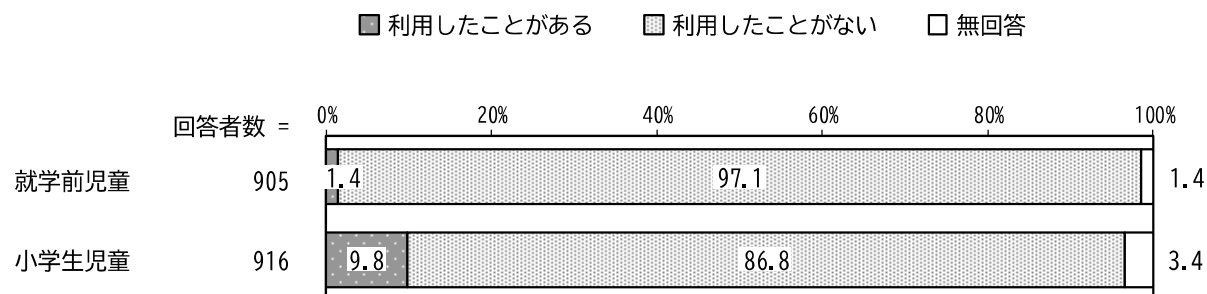
(7) こども食堂の利用状況

【就学前児童：問6－2】【小学生児童：問5－2】

①現在の利用状況〈単数回答〉

就学前児童では、「利用したことがない」の割合が高く 97.1%となっています。

小学生児童では、「利用したことがない」の割合が高く 86.8%となっています。

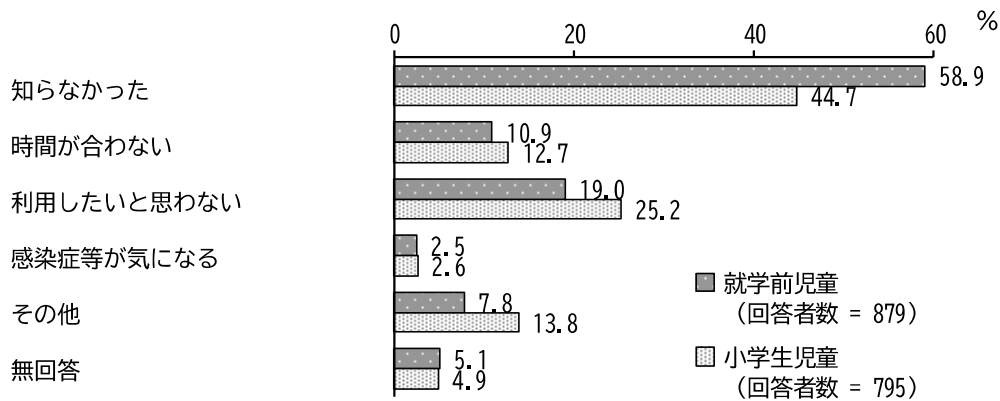


「利用したことがない」を選んだ方

②利用したことがない理由

就学前児童では、「知らなかった」の割合が58.9%と最も高く、次いで「利用したいと思わない」の割合が19.0%、「時間が合わない」の割合が10.9%となっています。

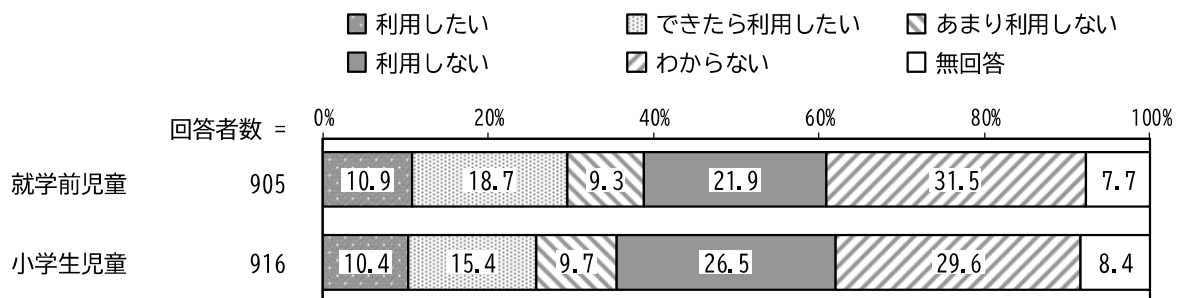
小学生児童では、「知らなかった」の割合が44.7%と最も高く、次いで「利用したいと思わない」の割合が25.2%、「時間が合わない」の割合が12.7%となっています。



③今後の利用希望

就学前児童では、「わからない」の割合が31.5%と最も高く、次いで「利用しない」の割合が21.9%、「できたら利用したい」の割合が18.7%となっています。

小学生児童では、「わからない」の割合が29.6%と最も高く、次いで「利用しない」の割合が26.5%、「できたら利用したい」の割合が15.4%となっています。

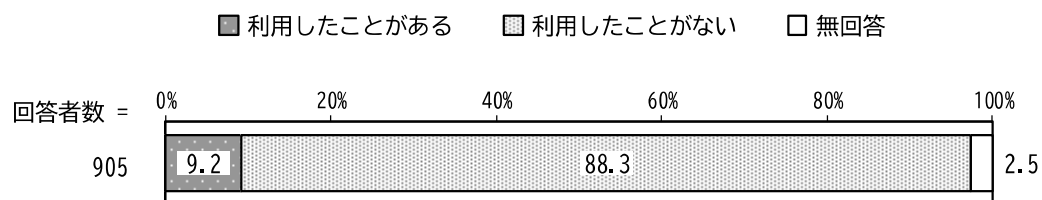


（８）子育て自主グループ・主任児童委員のまちの子育てひろばの利用状況

【就学前児童：問６－２】

①現在の利用状況〈単数回答〉

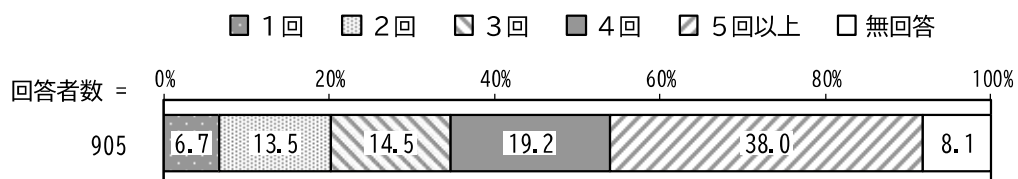
「利用したことがない」の割合が高く 88.3%となっています。



「利用したことがある」を選んだ方

月当たりの利用回数〈数量回答〉

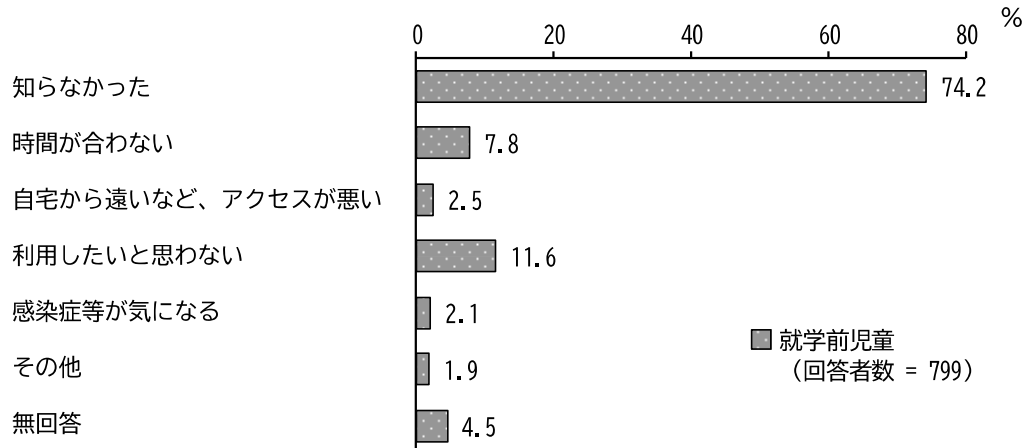
「５回」の割合が 38.0%と最も高く、次いで「４回」の割合が 19.2%、「３回」の割合が 14.5%となっています。



「利用したことがない」を選んだ方

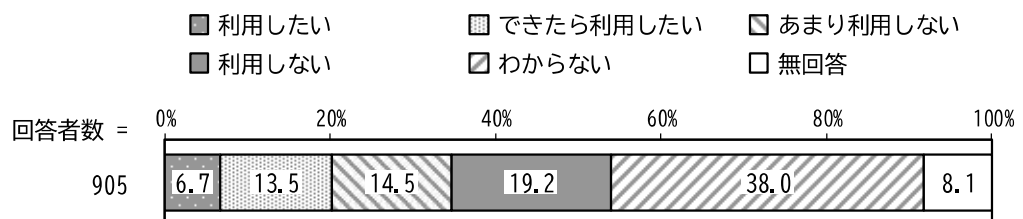
②利用したことがない理由

「知らなかった」の割合が74.2%と最も高く、次いで「利用したいと思わない」の割合が11.6%となっています。



③今後の利用希望

「わからない」の割合が38.0%と最も高く、次いで「利用しない」の割合が19.2%、「あまり利用しない」の割合が14.5%となっています。

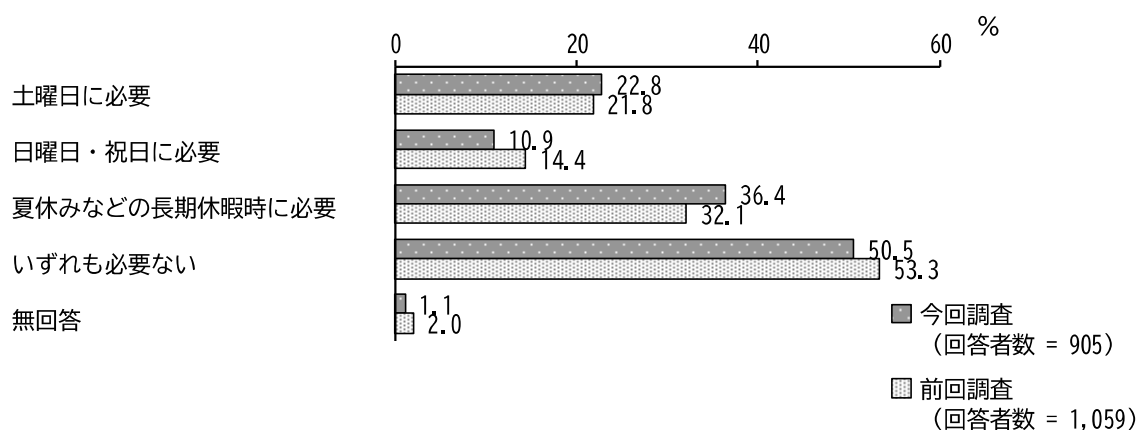


7 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用について（就学前児童）

（１）土曜日と日曜日・祝日の教育・保育サービスの利用希望（一時的な利用は除く） 〈単数回答〉

【就学前児童：問７－１】

「いずれも必要ない」の割合が50.5%と最も高く、次いで「夏休みなどの長期休暇時に必要」の割合が36.4%、「土曜日に必要」の割合が22.8%となっています。

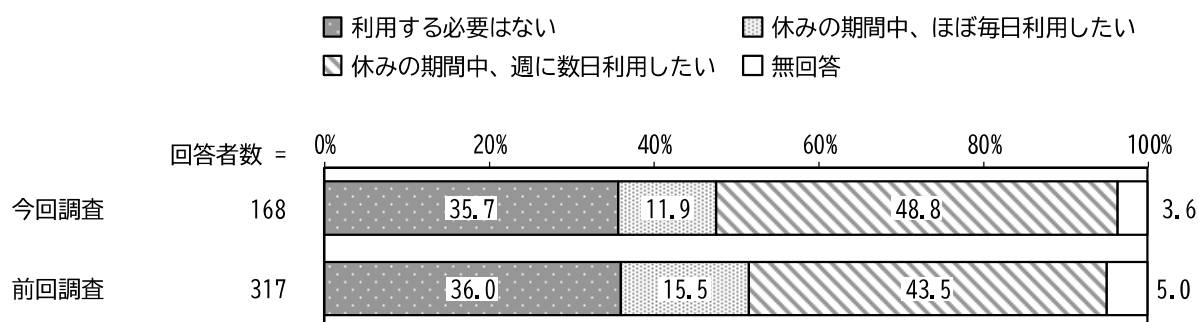


「幼稚園」を利用されている方

（２）夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育サービスの利用希望〈単数希望〉

【就学前児童：問７－２】

「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が48.8%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が35.7%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」の割合が11.9%となっています。前回調査と比較すると、「休みの期間中、週に数日利用したい」の割合が増加しています。



「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」を選んだ方

①利用希望時間帯〈数量回答〉

ア. 開始時間

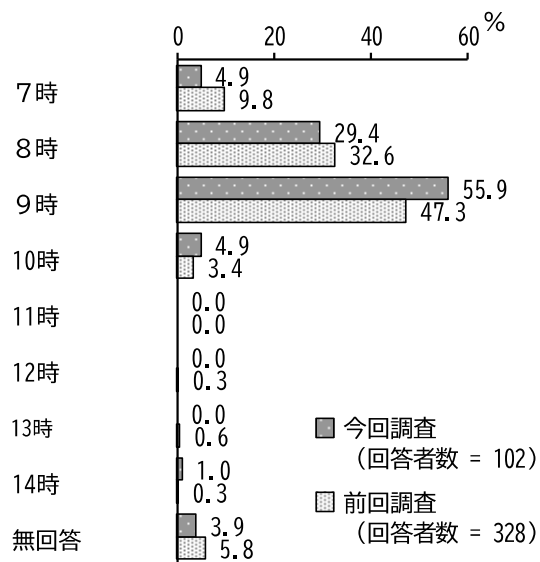
「9時」の割合が55.9%と最も高く、次いで「8時」の割合が29.4%となっています。
前回調査と比較すると、「9時」の割合が増加しています。

イ. 終了時間

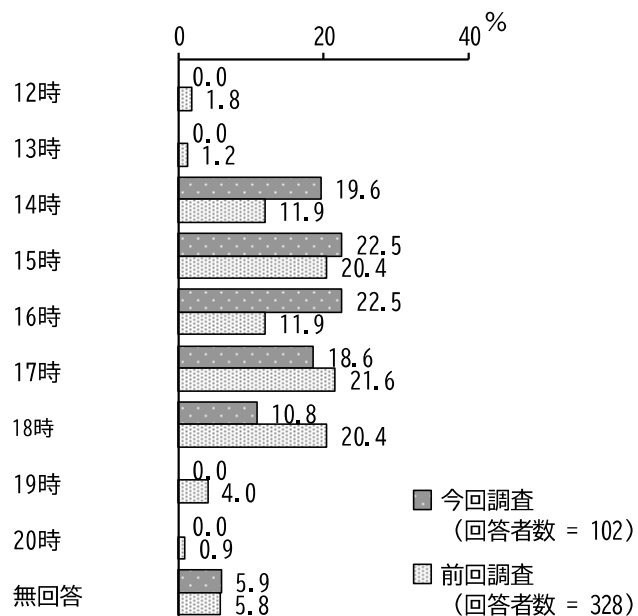
「15時」、「16時」の割合が22.5%と最も高く、次いで「14時」の割合が19.6%となっています。

前回調査と比較すると、「14時」「16時」の割合が増加しています。一方、「18時」の割合が減少しています。

〔開始時間〕



〔終了時間〕



8 病気の際の対応について

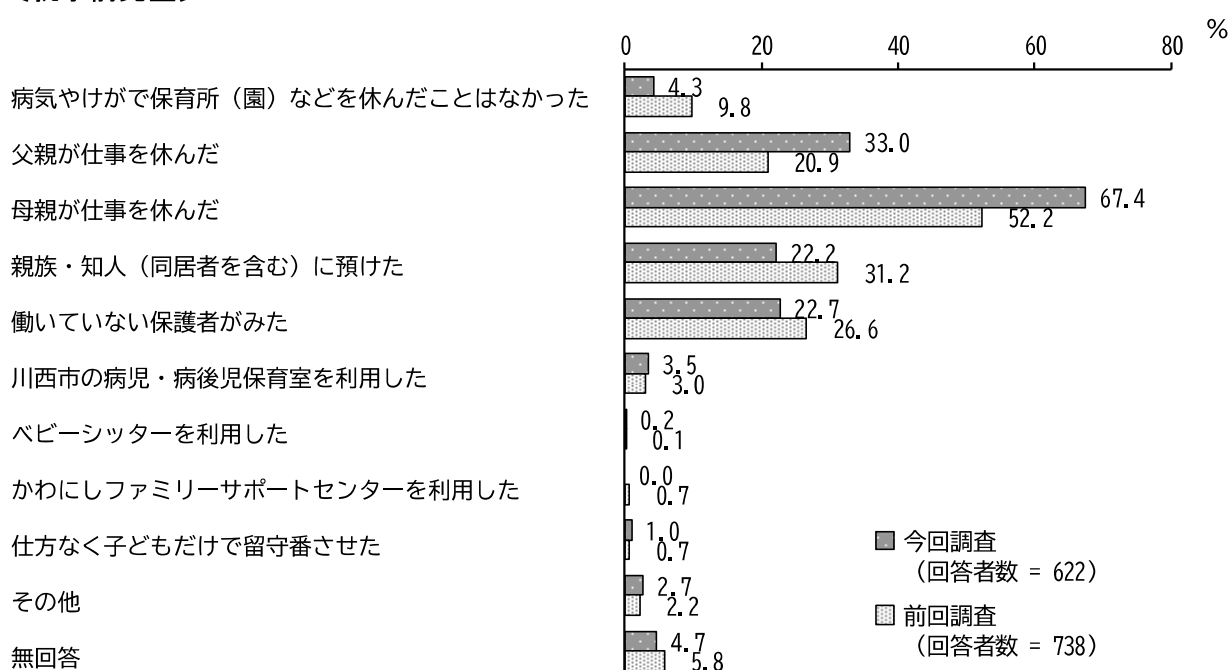
（１）子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育サービスが利用できなかった、あるいは小学校を休まなければならなかった場合の、この１年間の対応方法
 〈複数回答〉

【就学前児童：問８－１】【小学生児童：問６－１】

就学前児童では、「母親が仕事を休んだ」の割合が 67.4%と最も高く、次いで「父親が仕事を休んだ」の割合が 33.0%、「働いていない保護者がみた」の割合が 22.7%となっています。

前回調査と比較すると、「父親が仕事を休んだ」「母親が仕事を休んだ」の割合が増加しています。一方、「病気やけがで保育所（園）などを休んだことはなかった」「親族・知人（同居者を含む）に預けた」の割合が減少しています。

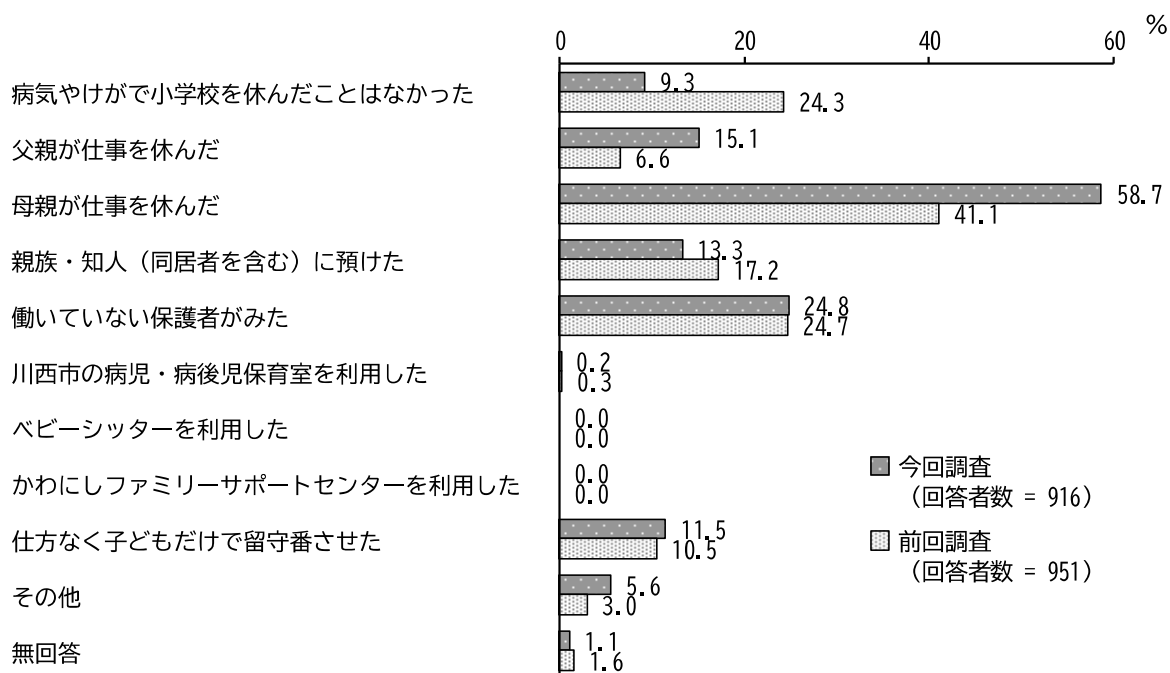
〔就学前児童〕



小学生児童では、「母親が仕事を休んだ」の割合が 58.7%と最も高く、次いで「働いていない保護者がみた」の割合が 24.8%、「父親が仕事を休んだ」の割合が 15.1%となっています。

前回調査と比較すると、「父親が仕事を休んだ」「母親が仕事を休んだ」の割合が増加しています。一方、「病気やけがで小学校を休んだことはなかった」の割合が減少しています。

〔小学生児童〕



(2) 子どもの病気やけがの際の対応として、「川西市の病児・病後児保育室」を利用したいと思うか〈単数回答〉

【就学前児童：問8－2】【小学生児童：問6－2】

就学前児童では、「病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が34.2%、「利用したいとは思わない」の割合が62.4%となっています。

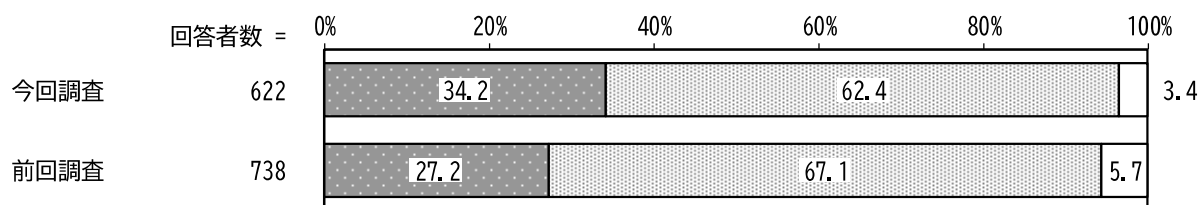
前回調査と比較すると、「病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が増加しています。

小学生児童では、「病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が12.4%、「利用したいとは思わない」の割合が85.4%となっています。

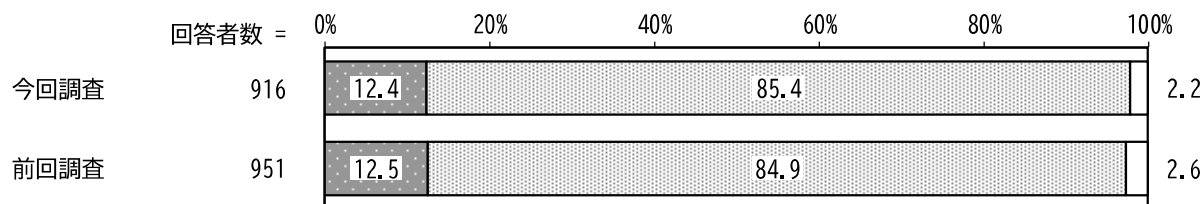
前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

- 病児・病後児保育施設等を利用したい
- ▨ 利用したいとは思わない
- 無回答

〔就学前児童〕



〔小学生児童〕



①病児・病後児保育施設等の利用希望日数〈数量回答〉

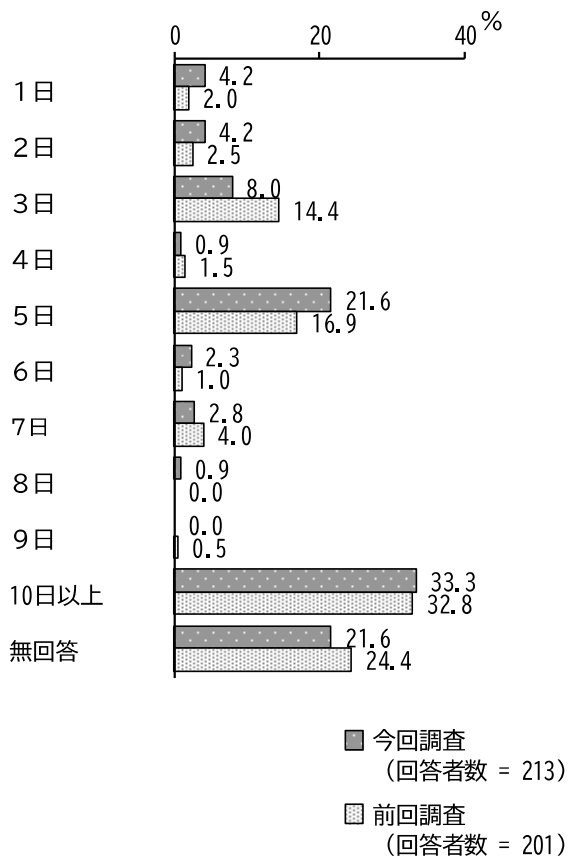
就学前児童では、「10日以上」の割合が33.3%と最も高く、次いで「5日」の割合が21.6%となっています。

前回調査と比較すると、「3日」の割合が減少しています。

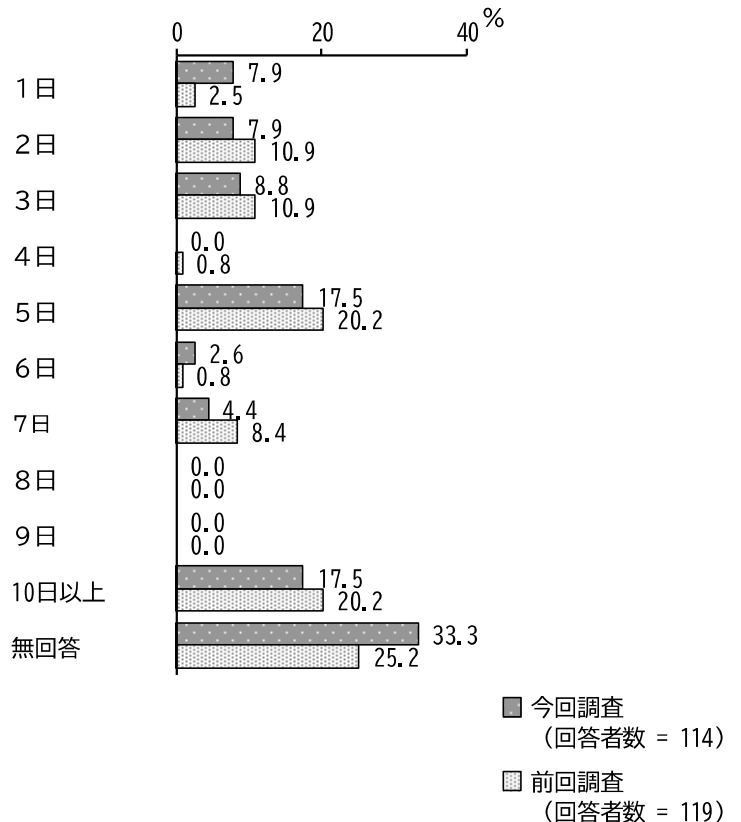
小学生児童では、「5日」、「10日以上」の割合が17.5%と最も高くなっています。

前回調査と比較すると、「1日」の割合が増加しています。

〔就学前児童〕



〔小学生児童〕



9 不定期の教育・保育サービスや宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1) 日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用しているサービス〈複数回答〉

【就学前児童：問9－1】【小学生児童：問7－1】

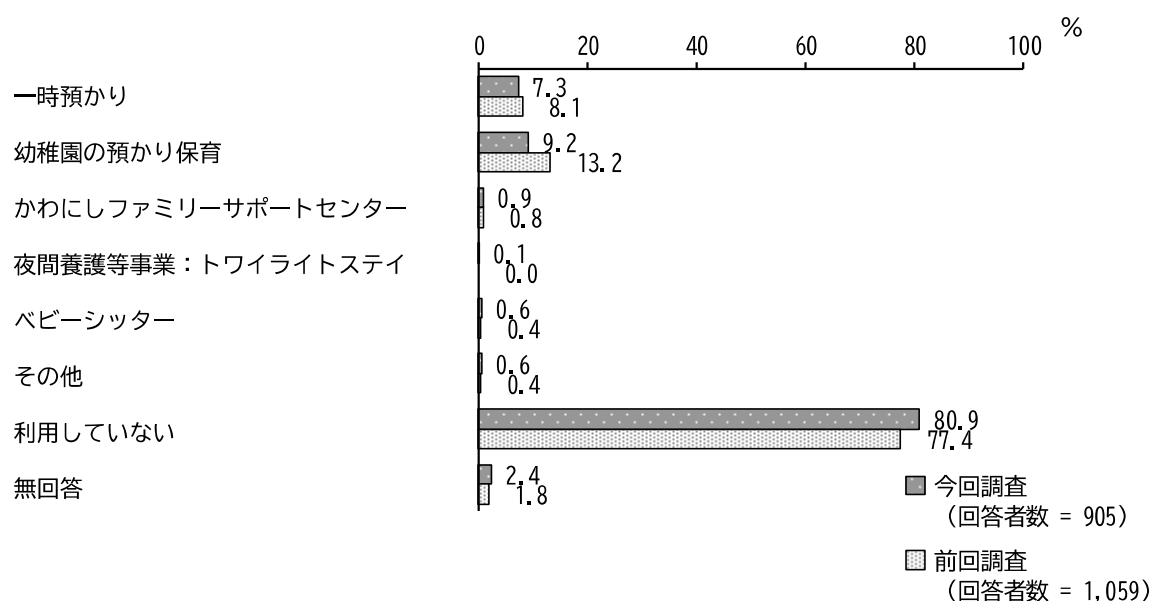
就学前児童では、「利用していない」の割合が80.9%と最も高くなっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

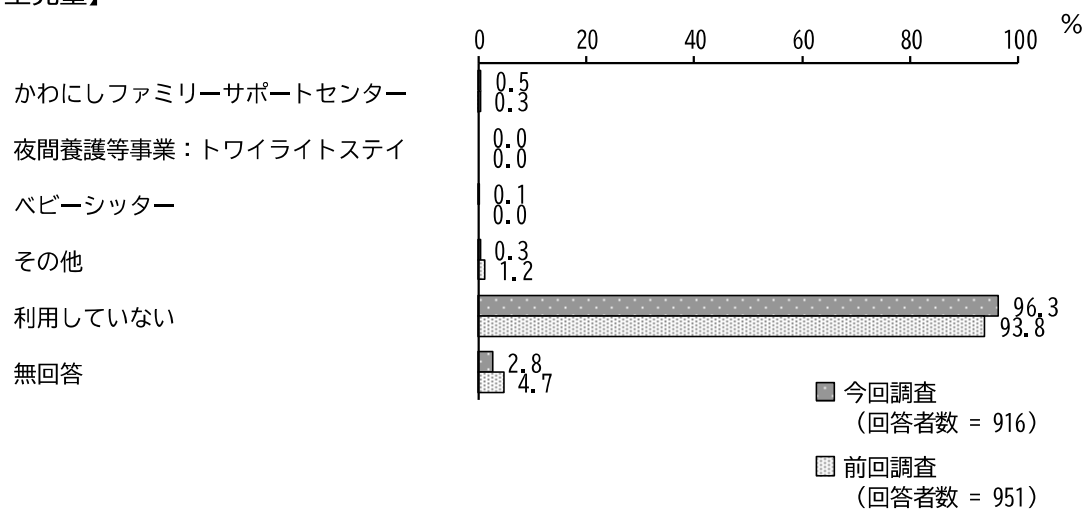
小学生児童では、「利用していない」の割合が96.3%と最も高くなっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

【就学前児童】



【小学生児童】



〔１〕で「利用していない」以外を選んだ方

① １年間の利用日数〈数量回答〉

〔就学前児童〕

「夜間養護等事業：トワイライトステイ」を除くすべての事業で「10日以上」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日以上	無回答
一時預かり	66	9.1	9.1	10.6	1.5	18.2	—	4.5	—	—	37.9	9.1
幼稚園の預かり保育	83	9.6	1.2	13.3	1.2	14.5	4.8	—	—	—	39.8	15.7
かわにしファミリー サポートセンター	8	12.5	12.5	12.5	—	—	—	—	—	—	25.0	37.5
夜間養護等事業： トワイライトステイ	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベビーシッター	5	20.0	—	—	—	—	—	—	—	—	60.0	20.0
その他	5	20.0	20.0	—	—	—	—	—	—	—	40.0	20.0

〔小学生児童〕

「かわにしファミリーサポートセンター」で「2日」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日以上	無回答
かわにしファミリー サポートセンター	5	—	40.0	20.0	—	—	—	—	—	—	—	40.0
夜間養護等事業： トワイライトステイ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ベビーシッター	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
その他	3	—	33.3	—	—	—	—	—	—	—	66.7	—

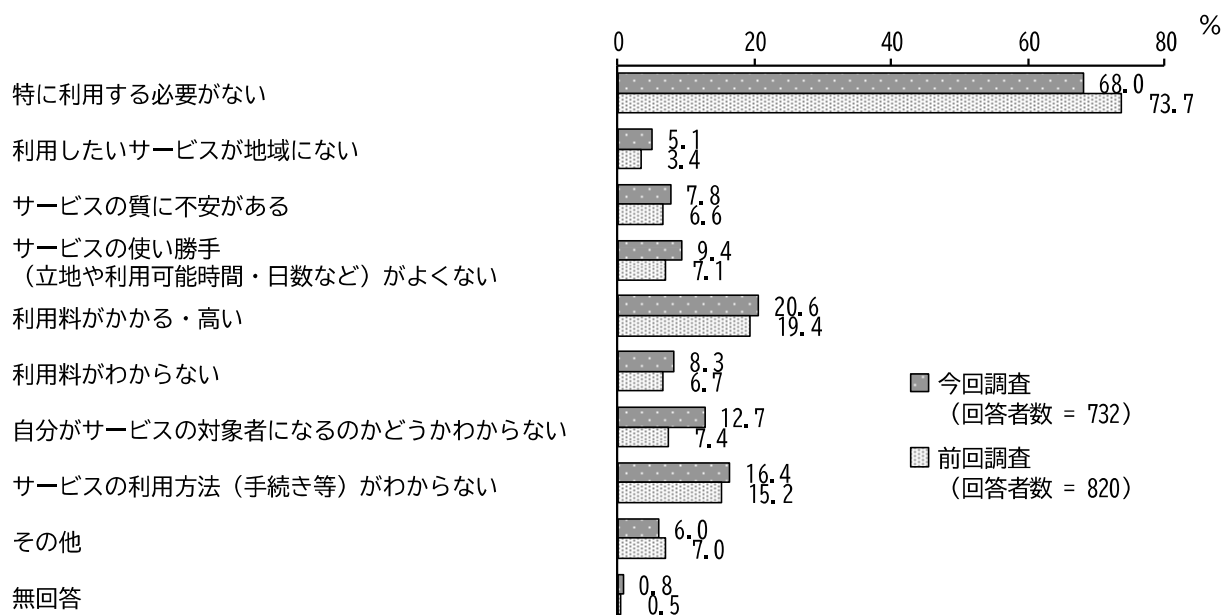
(1) で「利用していない」を選んだ方

(2) 現在利用していない理由〈複数回答〉

【就学前児童：問9－2】

「特に利用する必要がない」の割合が 68.0%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」の割合が 20.6%、「サービスの利用方法（手続き等）がわからない」の割合が 16.4%となっています。

前回調査と比較すると、「自分がサービスの対象者になるのかどうかかわからない」の割合が増加しています。一方、「特に利用する必要がない」の割合が減少しています。



(3) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的での教育・保育サービスの利用希望
〈単数回答〉

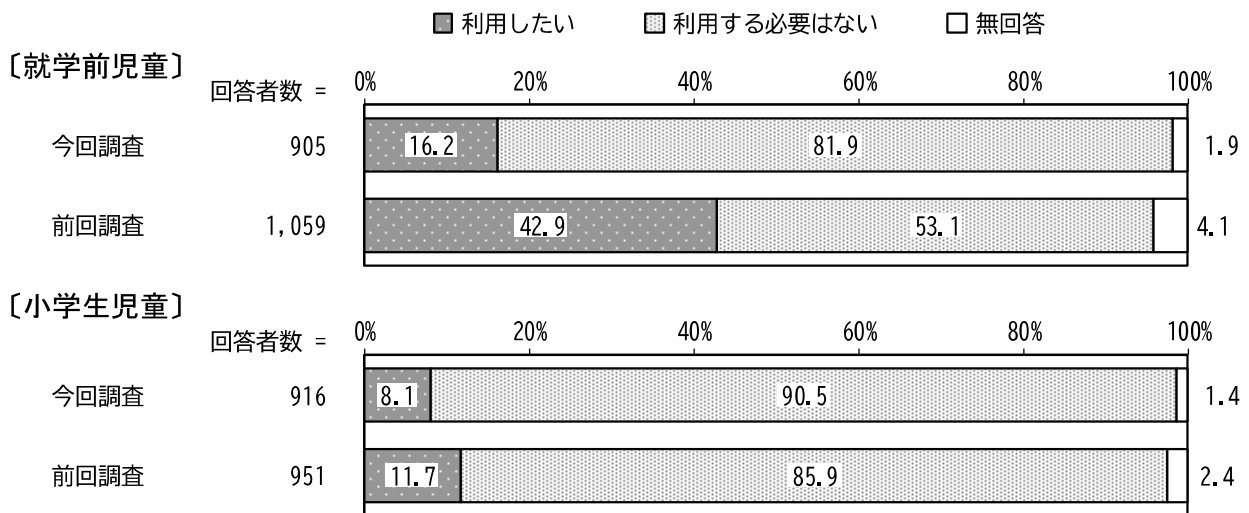
【就学前児童：問9-3】【小学生児童：問7-2】

就学前児童では、「利用したい」の割合が16.2%、「利用する必要はない」の割合が81.9%となっています。

前回調査と比較すると、「利用したい」の割合が減少しています。

小学生児童では、「利用したい」の割合が8.1%、「利用する必要はない」の割合が90.5%となっています。

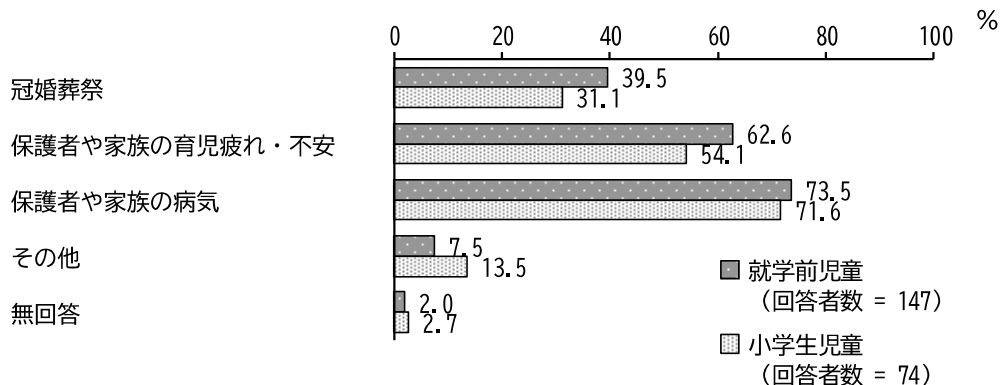
前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



①利用目的〈複数回答〉

就学前児童では、「保護者や家族の病気」の割合が73.5%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が62.6%、「冠婚葬祭」の割合が39.5%となっています。

小学生児童では、「保護者や家族の病気」の割合が71.6%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が54.1%、「冠婚葬祭」の割合が31.1%となっています。



②目的別の年間利用日数〈数量回答〉

〔就学前児童〕

単位：％

区分	回答者数 (件)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	8 日	9 日	10 日 以上	無 回 答
冠婚葬祭	58	29.3	22.4	24.1	6.9	6.9	-	1.7	-	-	-	8.6
保護者や家族の 育児疲れ・不安	92	6.5	10.9	13.0	4.3	15.2	6.5	5.4	-	-	32.6	5.4
保護者や家族の病気	108	-	5.6	19.4	3.7	19.4	0.9	12.0	-	0.9	26.9	11.1
その他	11	-	27.3	9.1	-	-	-	9.1	-	-	45.5	9.1

〔小学生児童〕

単位：％

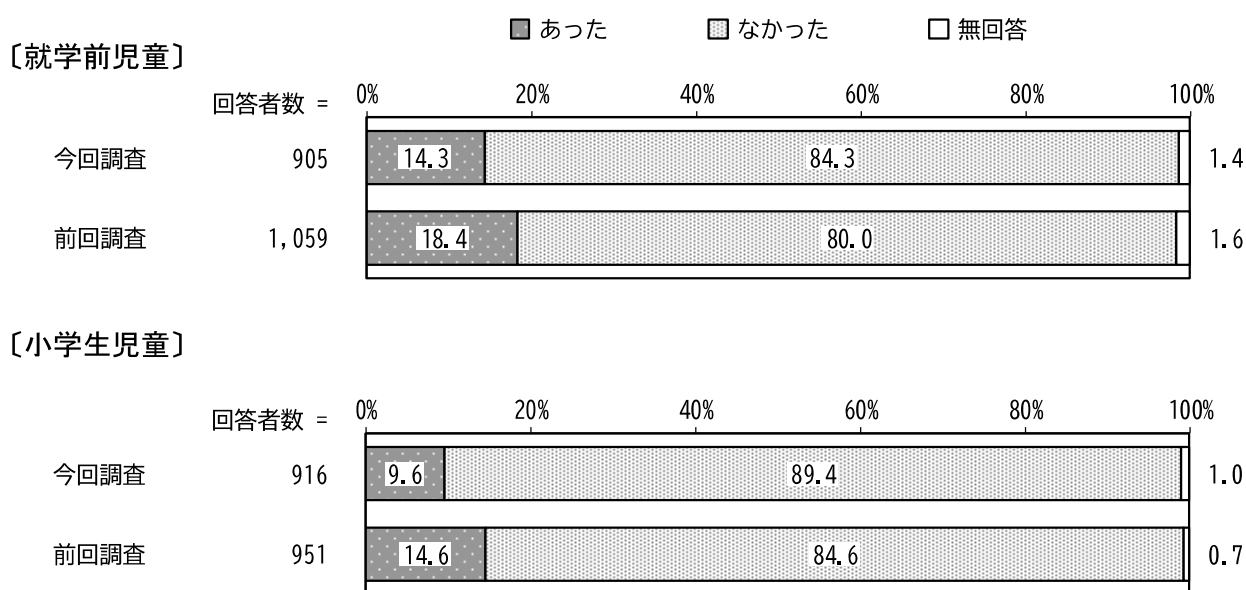
区分	回答者数 (件)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	8 日	9 日	10 日 以上	無 回 答
冠婚葬祭	23	17.4	47.8	4.3	4.3	13.0	-	-	-	-	4.3	8.7
保護者や家族の 育児疲れ・不安	40	15.0	10.0	15.0	2.5	12.5	-	12.5	-	-	25.0	7.5
保護者や家族の病気	53	9.4	15.1	15.1	-	26.4	1.9	11.3	-	-	20.8	-
その他	10	10.0	10.0	30.0	-	20.0	-	10.0	-	-	-	20.0

(4) この１年間に、保護者の用事により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験〈単数回答〉

【就学前児童：問９－４】【小学生児童：問７－３】

就学前児童では、「あった」の割合が 14.3%、「なかった」の割合が 84.3%となっています。前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

小学生児童では、「あった」の割合が 9.6%、「なかった」の割合が 89.4%となっています。前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



「あった」を選んだ方

① 1年間の対処方法〈複数回答〉

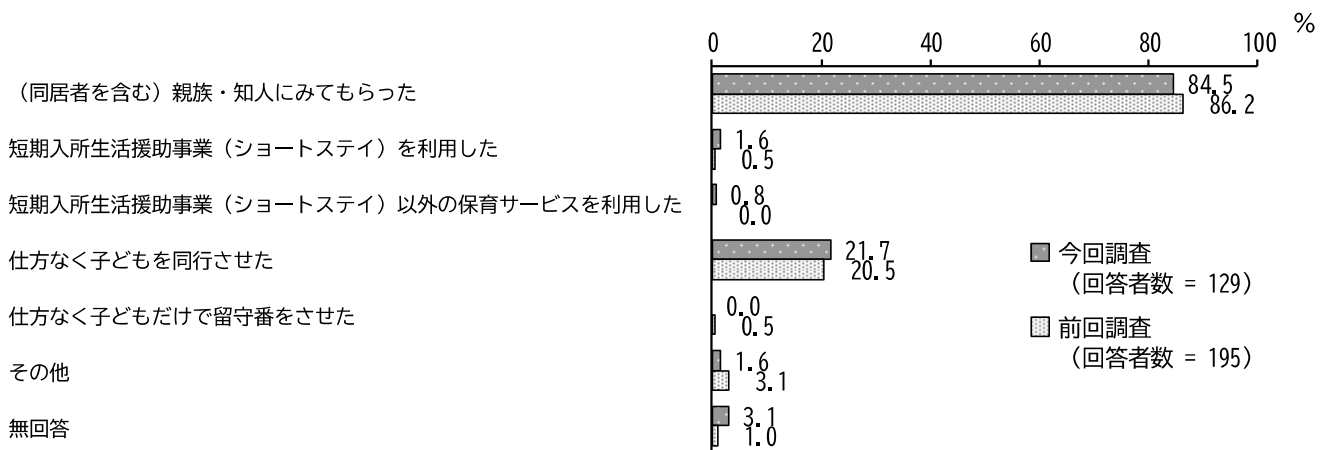
就学前児童では、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」の割合が84.5%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が21.7%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

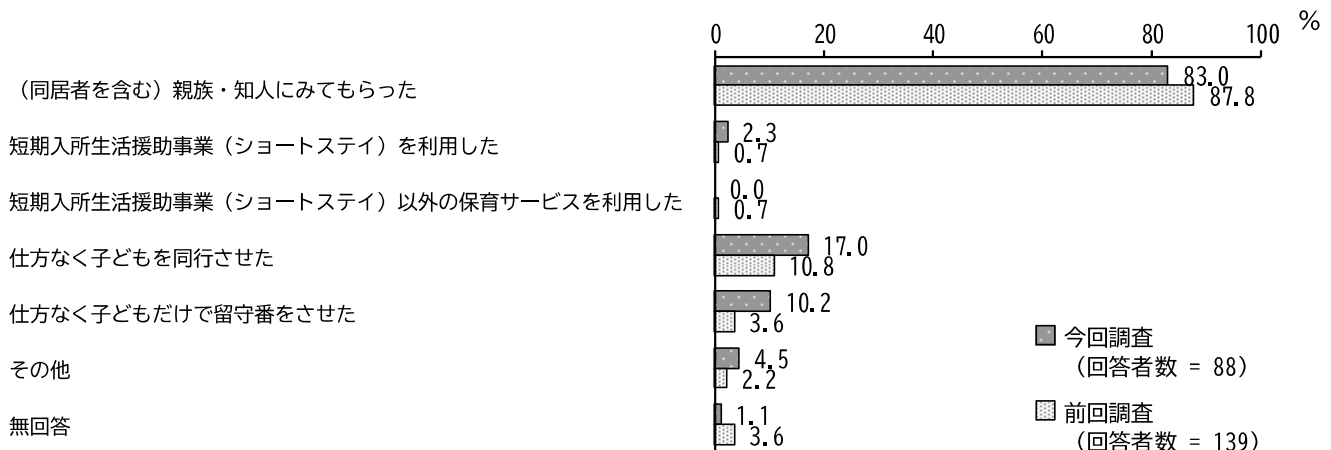
小学生児童では、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」の割合が83.0%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が17.0%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」の割合が10.2%となっています。

前回調査と比較すると、「仕方なく子どもを同行させた」「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」の割合が増加しています。

〔就学前児童〕



〔小学生児童〕



「あった」を選んだ方

①対処方法別の宿泊数〈数量回答〉

〔就学前児童〕

単位：％

区分	回答者数 (件)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	8 日	9 日	10 日 以上	無 回 答
(同居者を含む) 親族・知人に みてもらった	109	25.7	16.5	16.5	1.8	12.8	0.9	4.6	—	—	11.9	9.2
短期入所生活援助事業(ショ ートステイ)を利用した	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0
短期入所生活援助事業(ショ ートステイ)以外の保育サー ビスを利用した	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0
仕方なく子どもを同行させ た	28	28.6	14.3	3.6	3.6	7.1	—	—	—	—	10.7	32.1
仕方なく子どもだけで留守 番をさせた	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0	50.0

〔小学生児童〕

単位：％

区分	回答者数 (件)	1 日	2 日	3 日	4 日	5 日	6 日	7 日	8 日	9 日	10 日 以上	無 回 答
(同居者を含む) 親族・知人 にみてもらった	73	32.9	9.6	16.4	2.7	5.5	1.4	4.1	1.4	—	21.9	4.1
短期入所生活援助事業(ショ ートステイ)を利用した	2	50.0	—	—	—	—	—	—	50.0	—	—	—
短期入所生活援助事業(ショ ートステイ)以外の保育サー ビスを利用した	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
仕方なく子どもを同行させ た	15	33.3	13.3	33.3	—	6.7	—	—	—	—	—	13.3
仕方なく子どもだけで留守 番をさせた	9	33.3	11.1	22.2	—	—	—	—	—	—	—	33.3
その他	4	—	25.0	25.0	—	—	—	25.0	—	—	—	25.0

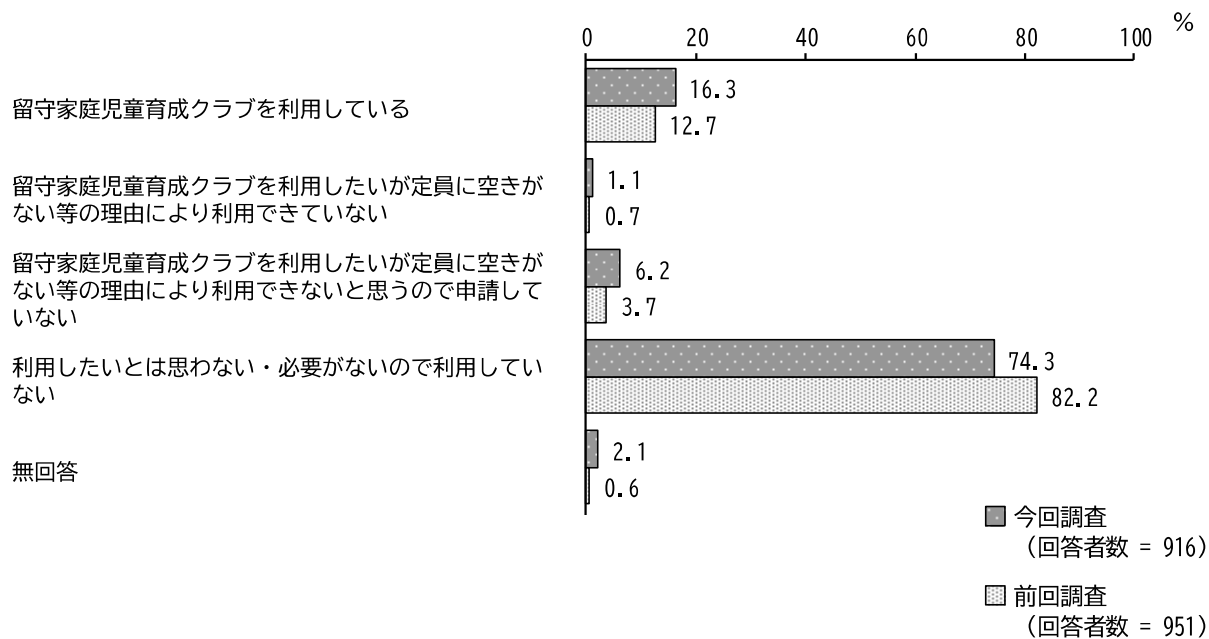
10 小学校就学後の放課後の過ごし方について

（１）留守家庭児童育成クラブの利用の有無〈単数回答〉

【小学生児童：問 10－１】

「利用したいとは思わない・必要がないので利用していない」の割合が 74.3%と最も高く、次いで「留守家庭児童育成クラブを利用している」の割合が 16.3%となっています。

前回調査と比較すると、「利用したいとは思わない・必要がないので利用していない」の割合が減少しています。



「留守家庭児童育成クラブを利用している」を選んだ方

①留守家庭児童クラブの利用日数（数量回答）

「5日」の割合が 59.7%と最も高く、次いで「3日」の割合が 16.8%、「4日」の割合が 14.1%となっています。

前回調査と比較すると、「5日」の割合が増加しています。一方、「4日」の割合が減少しています。

単位：％

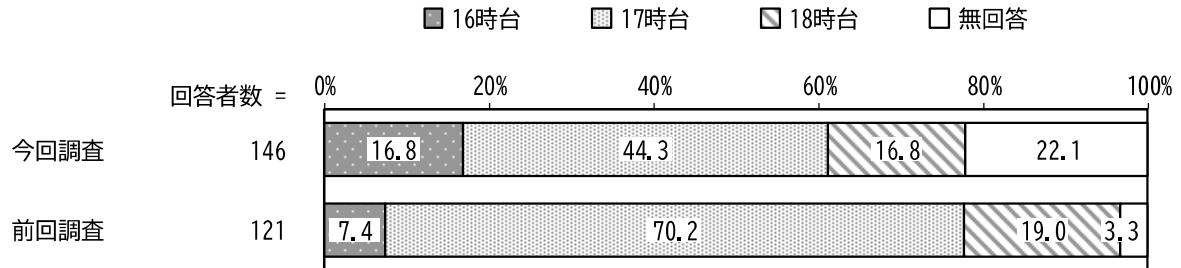
区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
今回調査	149	2.7	2.0	16.8	14.1	59.7	0.7	-	4.0
前回調査	121	1.7	4.1	13.2	25.6	49.6	3.3	0.0	2.5

「留守家庭児童育成クラブを利用している」を選んだ方

②留守家庭児童クラブの利用時間（数量回答）

「17 時台」の割合が 44.3%と最も高く、次いで「16 時台」、「18 時台」の割合が 16.8%となっています。

前回調査と比較すると、「16 時台」の割合が増加しています。一方、「17 時台」の割合が減少しています。



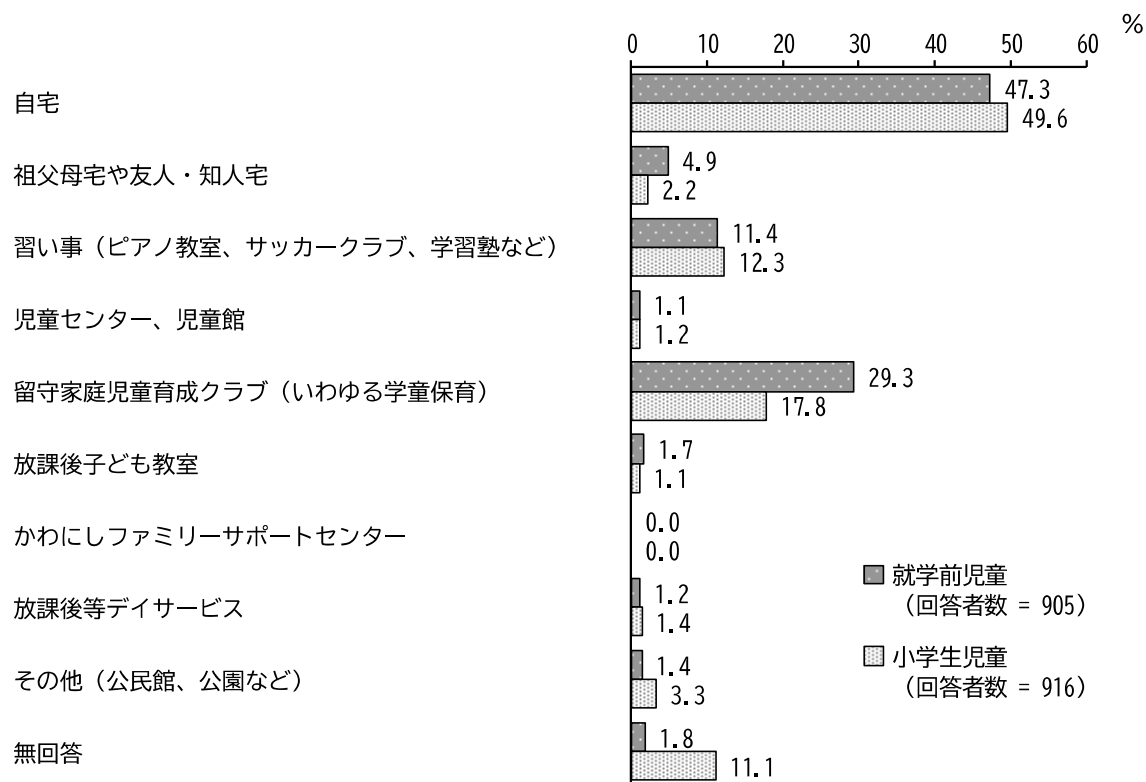
(2) 放課後の時間に過ごさせたい場所〈複数回答〉

【就学前児童：問10－1】【小学生児童：問8－2】

①小学校低学年（１～３年生）の間

就学前児童では、「自宅」の割合が47.3%と最も高く、次いで「留守家庭児童育成クラブ（いわゆる学童保育）」の割合が29.3%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が11.4%となっています。

小学生児童では、「自宅」の割合が49.6%と最も高く、次いで「留守家庭児童育成クラブ（いわゆる学童保育）」の割合が17.8%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が12.3%となっています。



◎週あたりの希望利用日数〈数量回答〉

就学前児童では、7日で「自宅」の割合が、6日で「留守家庭児童育成クラブ（いわゆる学童保育）」の割合が、5日で「留守家庭児童育成クラブ（いわゆる学童保育）」の割合が高くなっています。

小学生児童では、7日で「自宅」の割合が、5日で「留守家庭児童育成クラブ（いわゆる学童保育）」の割合が、1日で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が高くなっています。

単位：％

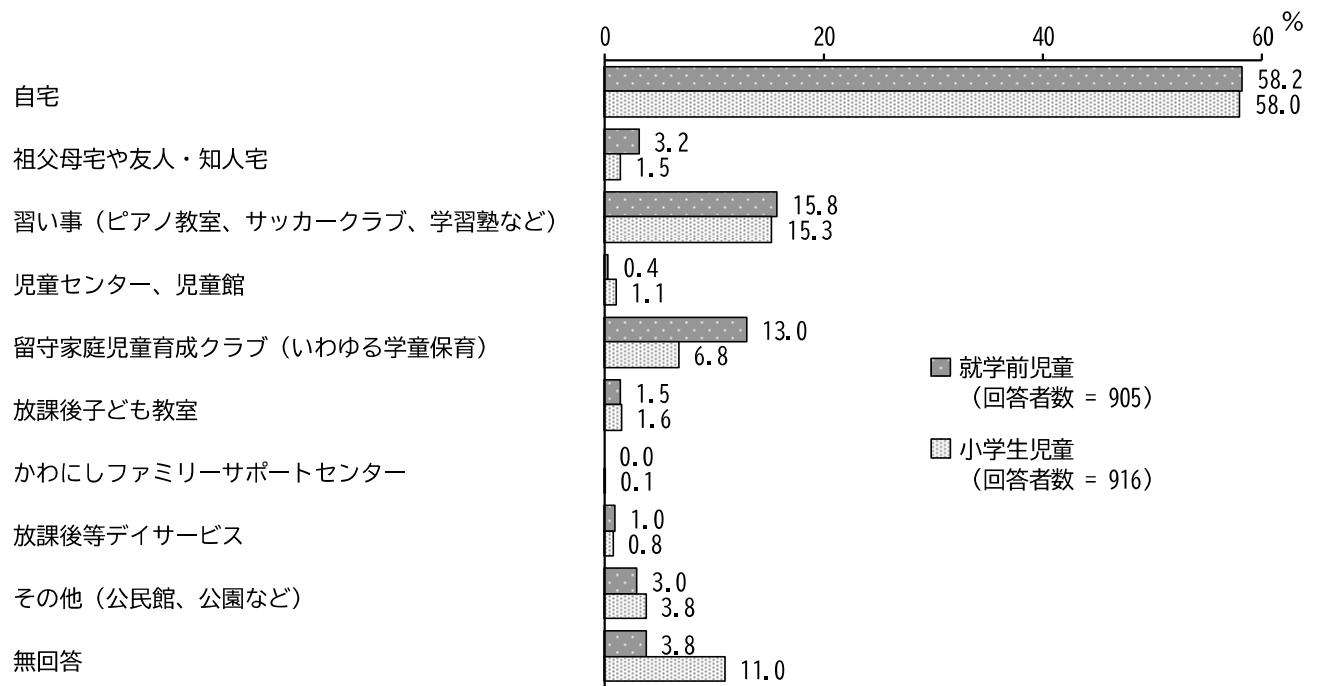
区分		回答者数（件）	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童センター、児童館	留守家庭児童育成クラブ（いわゆる学童保育）	放課後子ども教室	児童センター、児童館	放課後等デイサービス	その他（公民館、公園など）	無回答
就学前児童	全 体	905	47.3	4.9	11.4	1.1	29.3	1.7	—	1.2	1.4	1.8
	1日	74	48.6	21.6	28.4	1.4	—	—	—	—	—	—
	2日	156	62.2	5.1	26.3	—	2.6	0.6	—	1.3	1.9	—
	3日	164	54.3	5.5	16.5	1.2	18.9	0.6	—	1.2	1.8	—
	4日	81	51.9	—	3.7	—	42.0	—	—	—	2.5	—
	5日	317	31.9	1.6	1.6	1.6	56.5	3.8	—	1.9	0.9	0.3
	6日	15	20.0	—	—	6.7	73.3	—	—	—	—	—
	7日	11	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小学生児童	全 体	916	49.6	2.2	12.3	1.2	17.8	1.1	—	1.4	3.3	11.1
	1日	72	56.9	6.9	27.8	1.4	—	2.8	—	2.8	1.4	—
	2日	158	61.4	5.1	27.2	1.3	1.3	0.6	—	—	3.2	—
	3日	194	53.6	0.5	18.6	2.1	14.9	1.5	—	3.1	5.7	—
	4日	76	55.3	—	6.6	1.3	31.6	1.3	—	—	3.9	—
	5日	200	41.0	2.0	1.5	0.5	49.5	1.0	—	0.5	3.5	0.5
	6日	15	53.3	—	6.7	—	20.0	—	—	20.0	—	—
	7日	21	90.5	—	—	4.8	—	4.8	—	—	—	—

②小学校高学年（４～６年生）の間

場所①

就学前児童では、「自宅」の割合が 58.2%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカー клуб、学習塾など）」の割合が 15.8%、「留守家庭児童育成クラブ（いわゆる学童保育）」の割合が 13.0%となっています。

小学生児童では、「自宅」の割合が 58.0%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカー клуб、学習塾など）」の割合が 15.3%となっています。



◎週あたりの希望利用日数〈数量回答〉

就学前児童では、6日で「留守家庭児童育成クラブ（いわゆる学童保育）」の割合が、7日で「自宅」の割合が、5日で「留守家庭児童育成クラブ（いわゆる学童保育）」の割合が高くなっています。

小学生児童では、7日で「自宅」の割合が、4日で「自宅」の割合が、3日で「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数（件）	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	児童センター、児童館	留守家庭児童育成クラブ（いわゆる学童保育）	放課後子ども教室	児童センター	放課後等デイサービス	その他（公民館、公園など）	無回答
就学前児童	全 体	905	58.2	3.2	15.8	0.4	13.0	1.5	—	1.0	3.0	3.8
	1日	80	67.5	7.5	20.0	—	2.5	—	—	—	2.5	—
	2日	199	61.3	3.5	29.1	0.5	3.0	1.0	—	0.5	1.0	—
	3日	200	57.0	1.5	24.0	—	11.0	1.0	—	0.5	5.0	—
	4日	53	58.5	1.9	11.3	—	20.8	—	—	—	7.5	—
	5日	238	58.0	2.1	2.5	0.8	28.6	3.8	—	1.7	2.5	—
	6日	13	38.5	—	—	7.7	53.8	—	—	—	—	—
	7日	13	76.9	15.4	—	—	—	7.7	—	—	—	—
小学生児童	全 体	916	58.0	1.5	15.3	1.1	6.8	1.6	0.1	0.8	3.8	11.0
	1日	75	68.0	4.0	18.7	1.3	—	2.7	1.3	1.3	2.7	—
	2日	188	62.2	1.1	23.9	1.6	3.2	3.7	—	1.1	3.2	—
	3日	219	54.3	2.3	25.6	1.4	7.8	1.4	—	0.5	6.8	—
	4日	66	69.7	—	16.7	—	7.6	—	—	—	6.1	—
	5日	160	67.5	1.9	5.0	1.3	19.4	1.3	—	0.6	3.1	—
	6日	12	66.7	—	8.3	—	8.3	—	—	16.7	—	—
	7日	25	96.0	—	—	—	—	4.0	—	—	—	—

「留守家庭児童育成クラブを利用したい」を選んだ方

(3) 土曜日、日曜日、祝日、長期の休みの留守家庭児童育成クラブの利用希望
〈単数回答〉

【就学前児童：問10-2】【小学生児童：問8-3】

①土曜日

就学前児童では、「利用する必要はない」の割合が55.4%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間だけ利用したい」の割合が20.5%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が17.2%となっています。

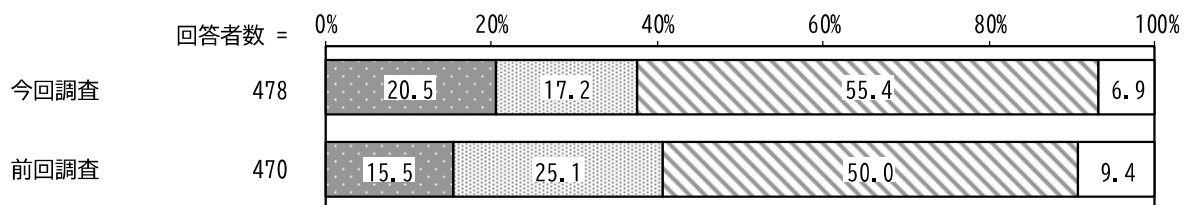
前回調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が減少しています。

小学生児童では、「利用する必要はない」の割合が63.1%と最も高く、次いで「低学年（1～3年生）の間だけ利用したい」の割合が17.2%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が11.5%となっています。

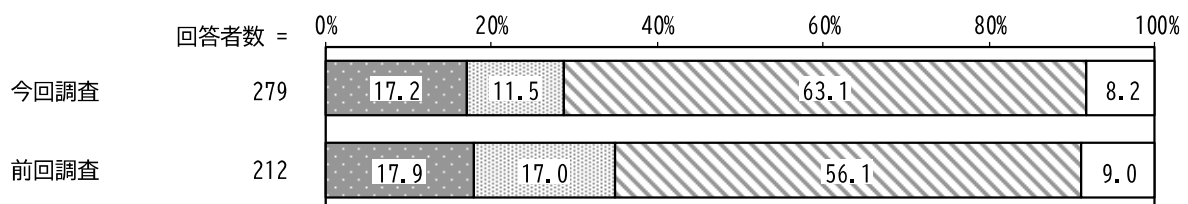
前回調査と比較すると、「利用する必要はない」の割合が増加しています。一方、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が減少しています。

- 低学年（1～3年生）の間だけ利用したい
- ▨ 高学年（4～6年生）になっても利用したい
- ▤ 利用する必要はない
- 無回答

〔就学前児童〕



〔小学生児童〕



◎日曜日、祝日、長期の休みの留守家庭児童育成クラブの利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童〕

単位：％

区分	回答者数 (件)	低学年(1～3年生)の間 だけ利用したい	高学年(4～6年生)にな っても利用したい	利用する必要はない	無回答
日曜日	478	4.8	2.9	84.1	8.2
祝日	478	7.1	6.1	77.6	9.2
春休み	478	46.9	42.1	4.6	6.5
夏休み	478	45.2	45.0	3.6	6.3
冬休み	478	44.6	42.7	6.3	6.5

〔小学生児童〕

単位：％

区分	回答者数 (件)	低学年(1～3年生)の間 だけ利用したい	高学年(4～6年生)にな っても利用したい	利用する必要はない	無回答
日曜日	279	3.6	2.9	84.2	9.3
祝日	279	8.2	3.9	79.2	8.6
春休み	279	35.8	41.9	14.3	7.9
夏休み	279	28.3	50.2	13.3	8.2
冬休み	279	34.1	41.9	15.8	8.2

◎利用希望時間帯〈数量回答〉

1) 開始時間

〔就学前児童〕

単位：％

区分	回答者数 (件)	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台以降	無回答
土曜日	180	12.8	55.0	18.9	-	-	-	0.6	1.1	2.8	1.1	7.8
日曜日	37	13.5	48.6	24.3	-	-	-	2.7	-	2.7	-	8.1
祝日	63	9.5	58.7	22.2	-	-	-	1.6	-	1.6	-	6.3
春休み	425	14.1	59.5	18.1	0.7	-	-	-	-	0.7	-	6.8
夏休み	431	14.4	59.6	17.4	0.9	-	-	0.5	-	0.5	-	6.7
冬休み	417	14.4	60.2	17.0	0.7	-	-	0.5	-	0.5	-	6.7

〔小学生児童〕

単位：％

区分	回答者数 (件)	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台以降	無回答
土曜日	80	13.8	61.3	15.0	1.3	-	-	-	-	1.3	-	7.5
日曜日	18	16.7	44.4	22.2	-	-	-	-	-	-	-	16.7
祝日	34	17.6	67.6	8.8	-	-	-	-	-	-	-	5.9
春休み	217	11.1	69.1	11.1	0.5	-	-	-	-	-	-	8.3
夏休み	219	11.4	68.9	11.4	0.5	-	-	-	-	-	-	7.8
冬休み	212	11.8	67.0	10.8	0.5	-	-	-	-	-	-	9.9

2) 終了時間
〔就学前児童〕

単位：％

区分	回答者数 (件)	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台	21時台以降	無回答
土曜日	180	1.7	2.2	1.7	2.8	8.9	29.4	37.8	9.4	-	-	6.1
日曜日	37	-	2.7	-	2.7	10.8	24.3	43.2	8.1	2.7	-	5.4
祝日	63	1.6	-	1.6	3.2	6.3	41.3	33.3	6.3	-	-	6.3
春休み	425	0.9	0.2	0.7	4.2	11.1	36.9	33.6	6.4	0.5	-	5.4
夏休み	431	1.2	0.2	0.7	3.7	10.9	37.4	34.1	6.0	0.5	-	5.3
冬休み	417	1.0	0.2	0.7	3.6	11.0	36.9	34.3	6.2	0.5	-	5.5

〔小学生児童〕

単位：％

区分	回答者数 (件)	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台	20時台以降	無回答
土曜日	80	-	5.0	2.5	8.8	7.5	32.5	18.8	15.0	-	10.0
日曜日	18	-	5.6	5.6	-	-	22.2	33.3	16.7	-	16.7
祝日	34	-	2.9	2.9	-	8.8	38.2	29.4	11.8	-	5.9
春休み	217	-	0.9	1.4	3.7	10.1	43.3	22.6	7.8	-	10.1
夏休み	219	-	0.5	1.4	4.1	10.0	44.3	21.9	8.7	-	9.1
冬休み	212	-	0.5	1.4	3.8	12.7	39.2	22.6	8.5	-	11.3

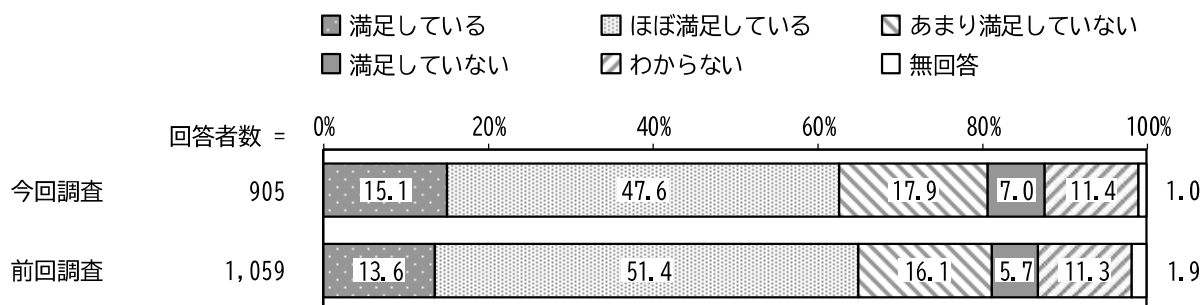
11 妊娠・出産時の状況について

(1) 妊娠から出産、及び産後の母子保健や医療サービスの満足度 〈単数回答〉

【就学前児童：問 11－1】

「ほぼ満足している」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「あまり満足していない」の割合が 17.9%、「満足している」の割合が 15.1%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



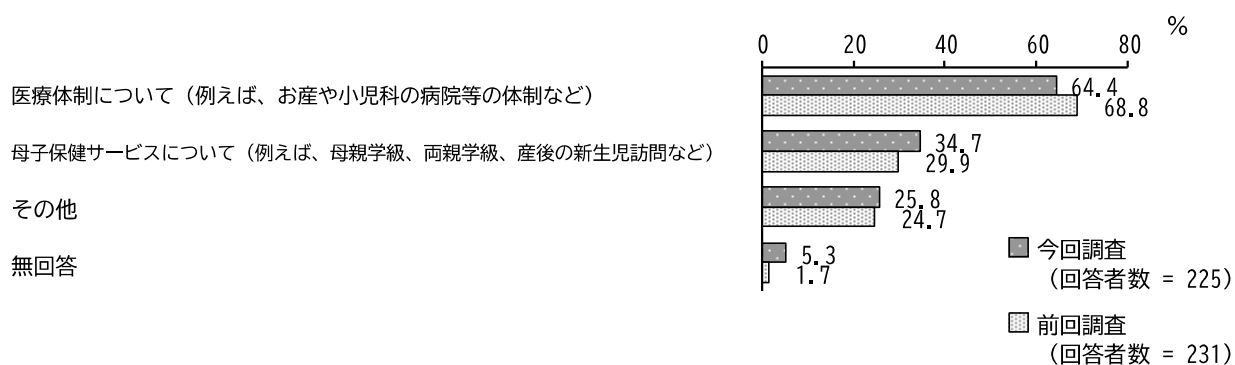
「あまり満足していない」「満足していない」を選んだ方

(2) 満足していない分野〈複数回答〉

【就学前児童：問 11－2】

「医療体制について（例えば、お産や小児科の病院等の体制など）」の割合が 64.4%、「母子保健サービスについて（例えば、母親学級、両親学級、産後の新生児訪問など）」の割合が 34.7%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



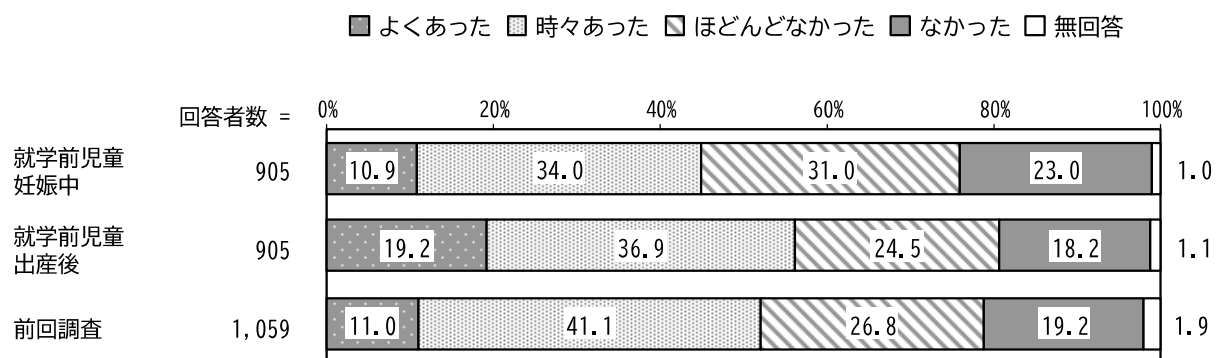
（３）妊娠中あるいは出産後に、母親が精神的に不安定になったことの有無

〈単数回答〉

【就学前児童：問 11－３】

妊娠中では、「時々あった」の割合が 34.0%と最も高く、次いで「ほとんどなかった」の割合が 31.0%、「なかった」の割合が 23.0%となっています。

出産後では、「時々あった」の割合が 36.9%と最も高く、次いで「ほとんどなかった」の割合が 24.5%、「よくあった」の割合が 19.2%となっています。



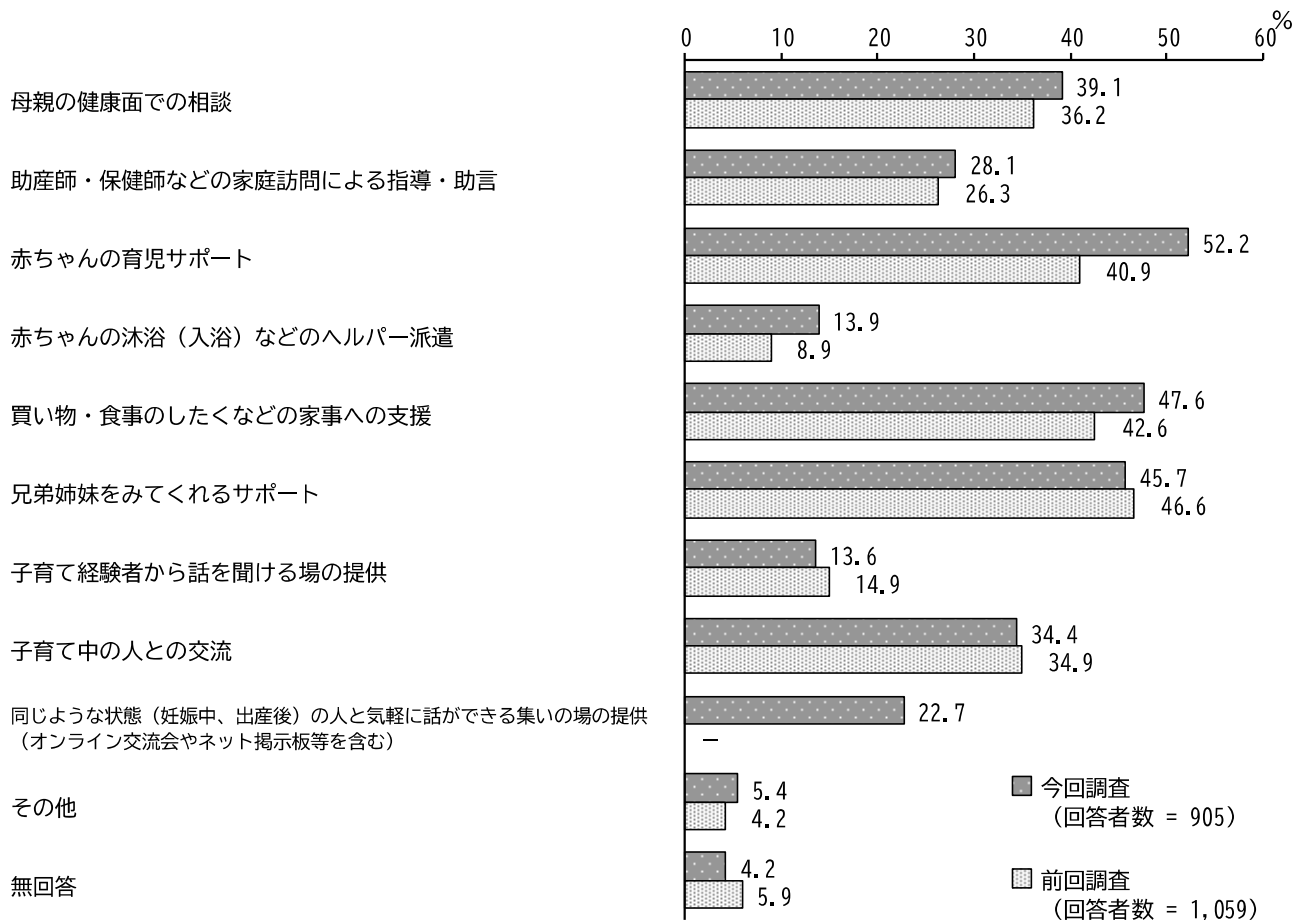
※前回調査は、妊娠中と出産後を一括して問う設問でした。

（４）妊娠中や出産後のサポートとして、特に必要なサービス〈複数回答〉

【就学前児童：問 11－４】

就学前児童では、「赤ちゃんの育児サポート」の割合が 52.2%と最も高く、次いで「買い物・食事のしたくなどの家事への支援」の割合が 47.6%、「兄弟姉妹をみてくれるサポート」の割合が 45.7%となっています。

前回調査と比較すると、「赤ちゃんの育児サポート」の割合が増加しています。



※「同じような状態（妊娠中、出産後）の人と気軽に話ができる集いの場の提供（オンライン交流会やネット掲示板等を含む）」の選択肢は、今回調査で追加されました。

12 仕事と子育ての両立支援について

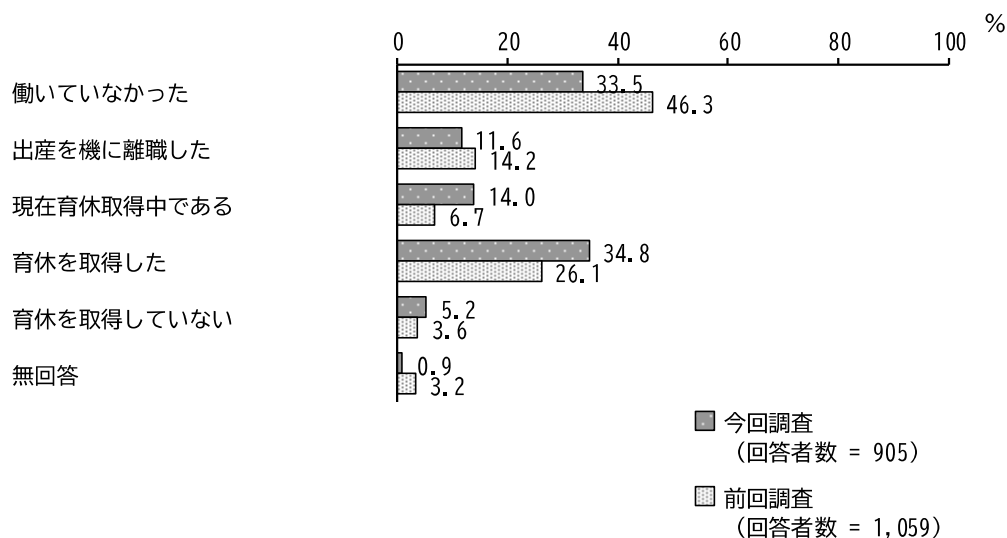
(1) 育児休業の取得状況〈単数回答〉

【就学前児童：問 12－1】

①母 親

「育休を取得した」の割合が 34.8%と最も高く、次いで「働いていなかった」の割合が 33.5%、「現在育休取得中である」の割合が 14.0%となっています。

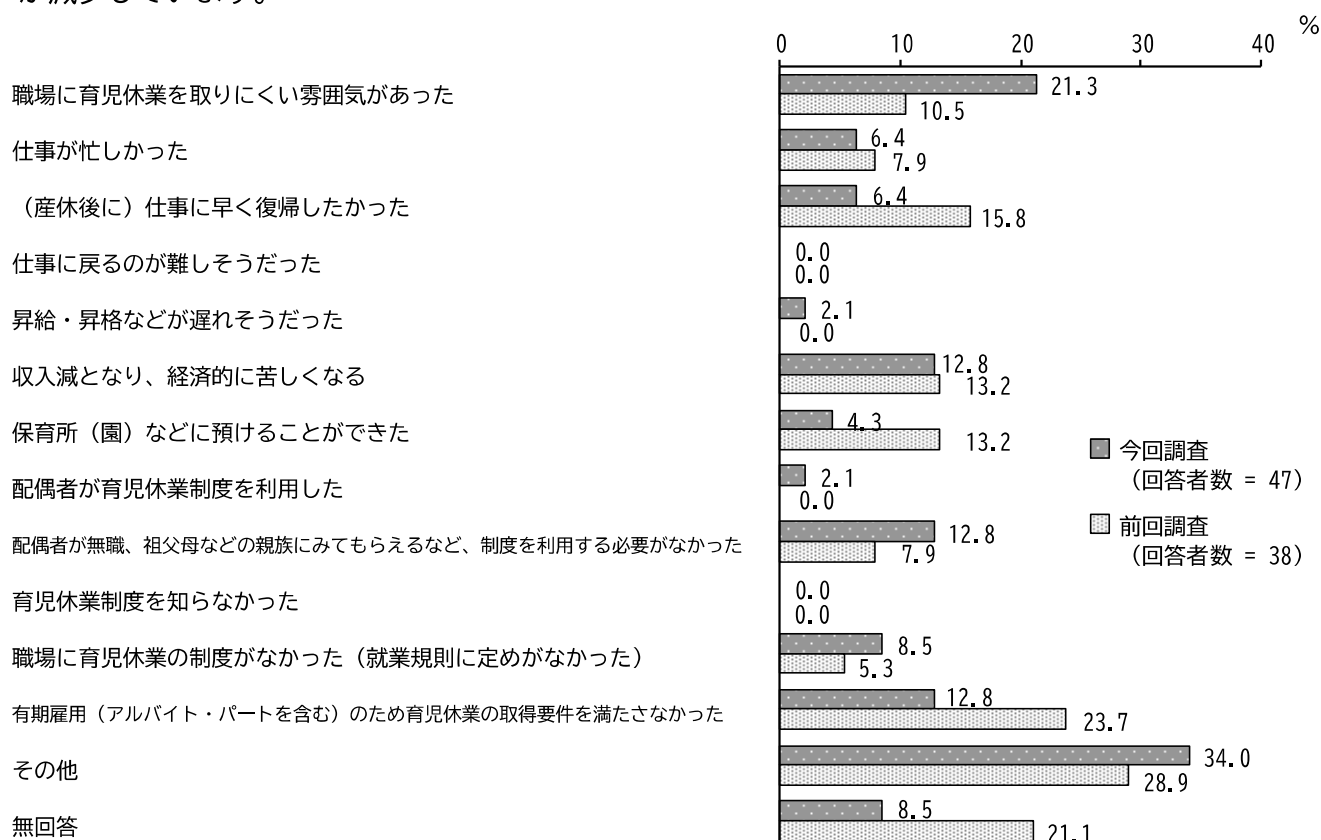
前回調査と比較すると、「現在育休取得中である」「育休を取得した」の割合が増加しています。一方、「働いていなかった」の割合が減少しています。



◎取得していない理由〈複数回答〉

「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が21.3%と最も高く、次いで「収入減となり、経済的に苦しくなる」、「配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」、「有期雇用（アルバイト・パートを含む）のため育児休業の取得要件を満たさなかった」の割合が12.8%となっています。

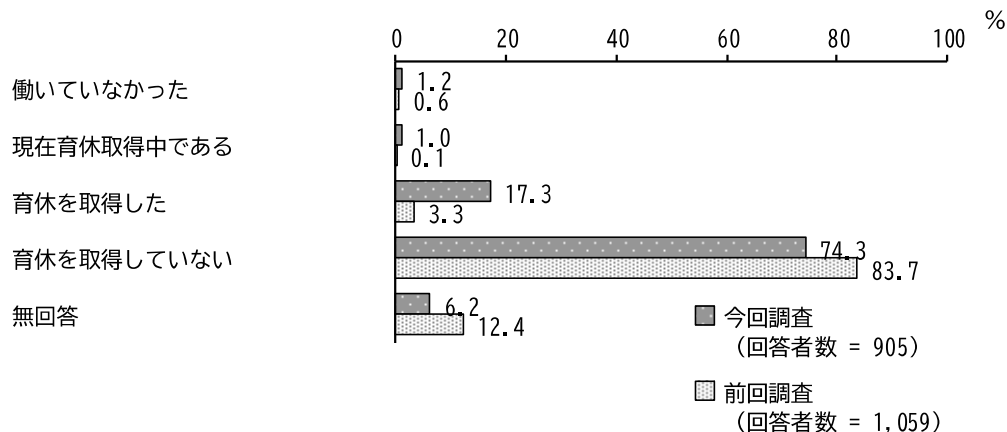
前回調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が増加しています。一方、「（産休後に）仕事に早く復帰したかった」「保育所（園）などに預けることができた」「有期雇用（アルバイト・パートを含む）のため育児休業の取得要件を満たさなかった」の割合が減少しています。



②父 親

「育休を取得していない」の割合が74.3%と最も高く、次いで「育休を取得した」の割合が17.3%となっています。

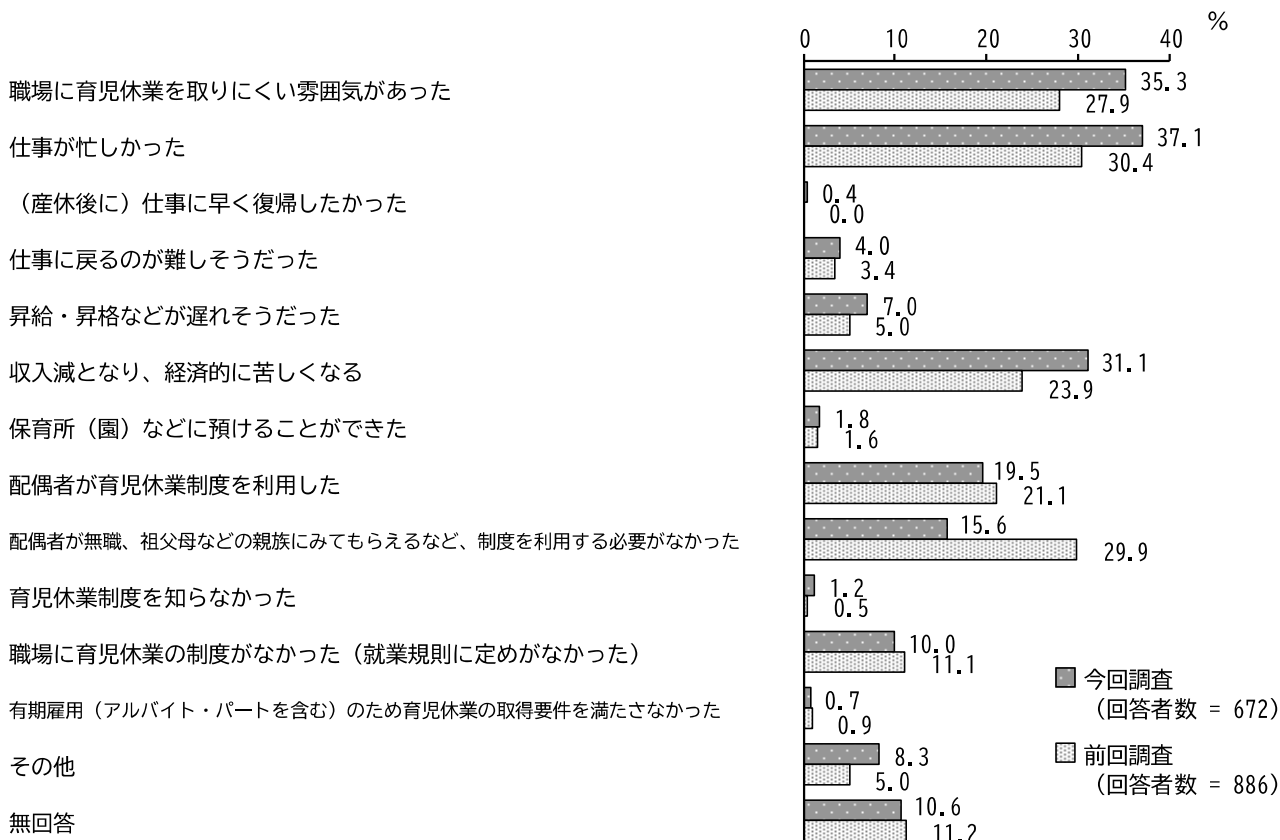
前回調査と比較すると、「育休を取得した」の割合が増加しています。一方、「育休を取得していない」の割合が減少しています。



◎取得していない理由〈複数回答〉

「仕事が忙しかった」の割合が37.1%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の割合が35.3%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が31.1%となっています。

前回調査と比較すると、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」の割合が増加しています。一方、「配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の割合が減少しています。



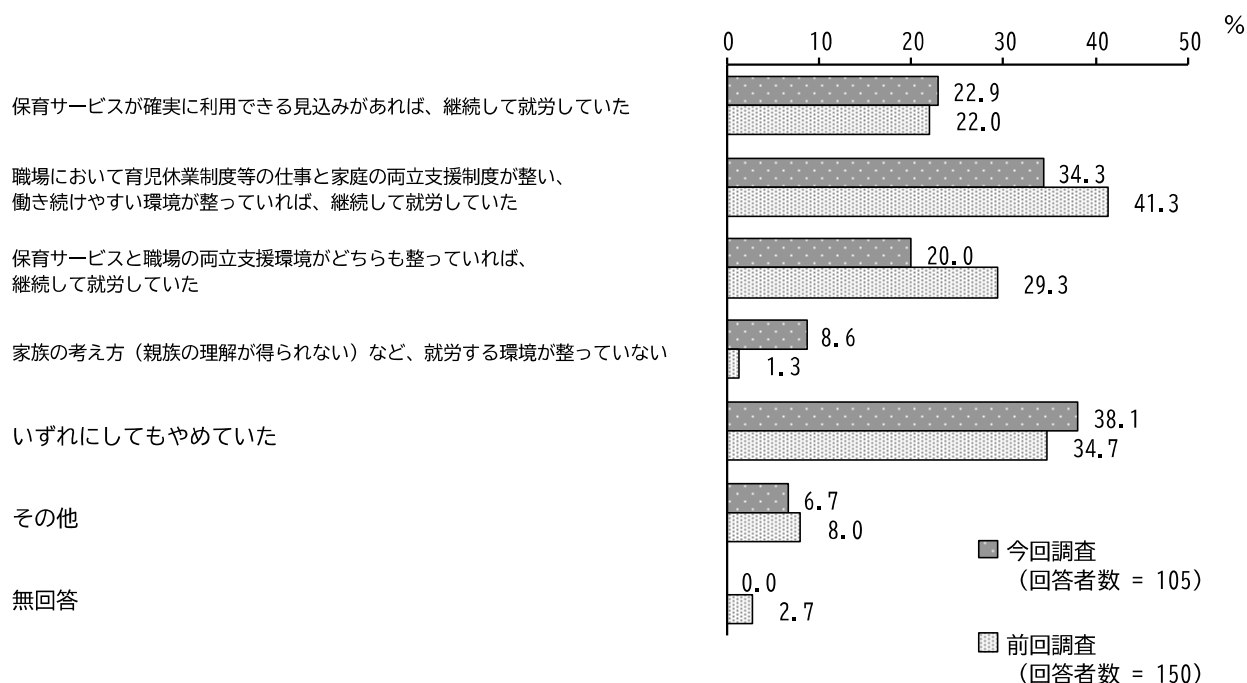
(1) の母親で「出産を機に離職した」を選んだ方

(2) 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていた場合の就労継続意向
〈複数回答〉

【就学前児童：問 12-2】

「いずれにしてもやめていた」の割合が 38.1%と最も高く、次いで「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」の割合が 34.3%、「保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた」の割合が 22.9%となっています。

前回調査と比較すると、「家族の考え方（親族の理解が得られない）など、就労する環境が整っていない」の割合が増加しています。一方、「職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた」「保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた」の割合が減少しています。



(1) で「現在育休取得中である」を選んだ方

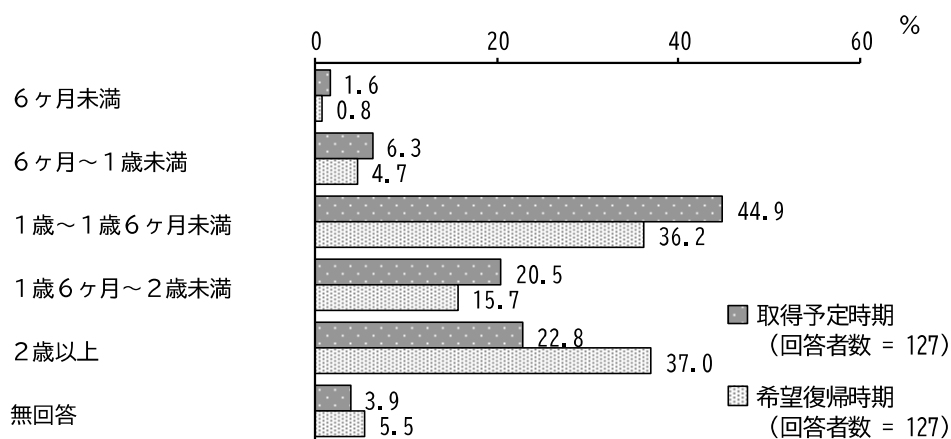
(3) 育児休業の取得期間と、必ず預けられる保育事業がある場合の復帰希望時期
〈数量回答〉

【就学前児童：問 12-3】

①母 親

取得予定時期では、「1歳～1歳6ヶ月未満」の割合が44.9%と最も高く、次いで「2歳以上」の割合が22.8%、「1歳6ヶ月～2歳未満」の割合が20.5%となっています。

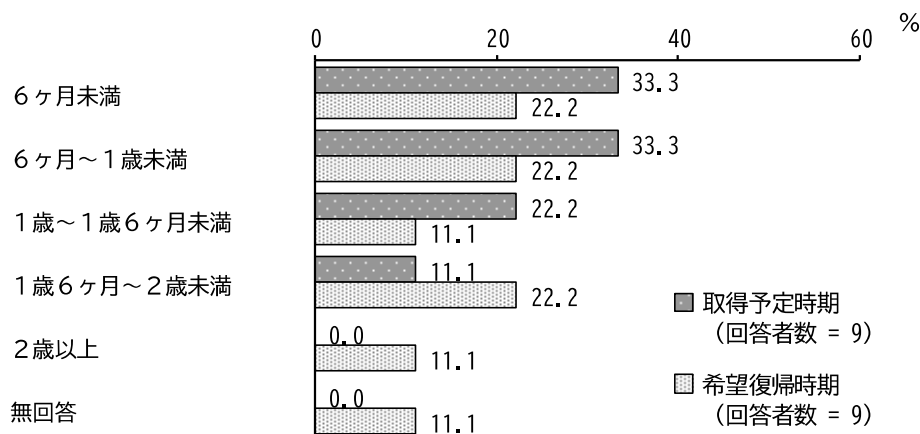
復帰希望時期では、「2歳以上」の割合が37.0%と最も高く、次いで「1歳～1歳6ヶ月未満」の割合が36.2%、「1歳6ヶ月～2歳未満」の割合が15.7%となっています。



②父 親

取得予定時期では、「6ヶ月未満」、「6ヶ月～1歳未満」が3件となっています。「1歳～1歳6ヶ月未満」が2件となっています。

復帰希望時期では、「6ヶ月未満」、「6ヶ月～1歳未満」、「1歳6ヶ月～2歳未満」が2件となっています。



(1) で「育休を取得した」を選んだ方

(4) 育児休業後の職場復帰の時期について〈数量回答〉

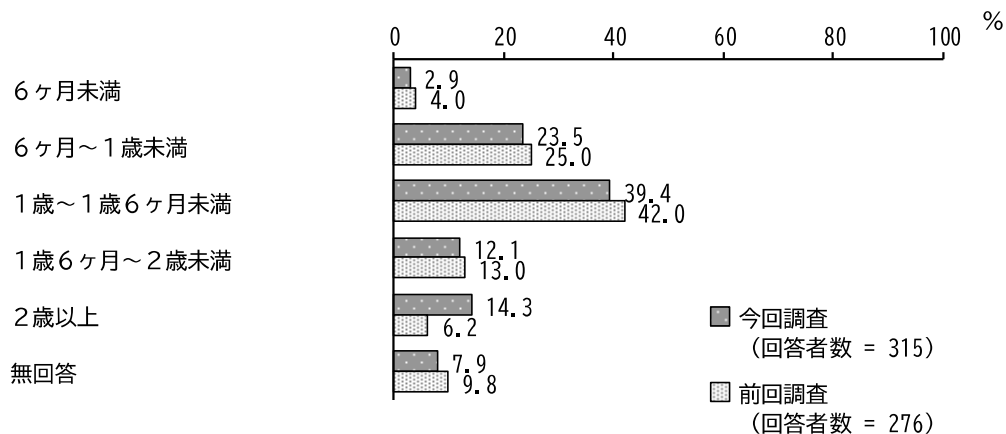
【就学前児童：問 12－4】

①母 親

ア. 実際の復帰時期

「1歳～1歳6ヶ月未満」の割合が39.4%と最も高く、次いで「6ヶ月～1歳未満」の割合が23.5%、「2歳以上」の割合が14.3%となっています。

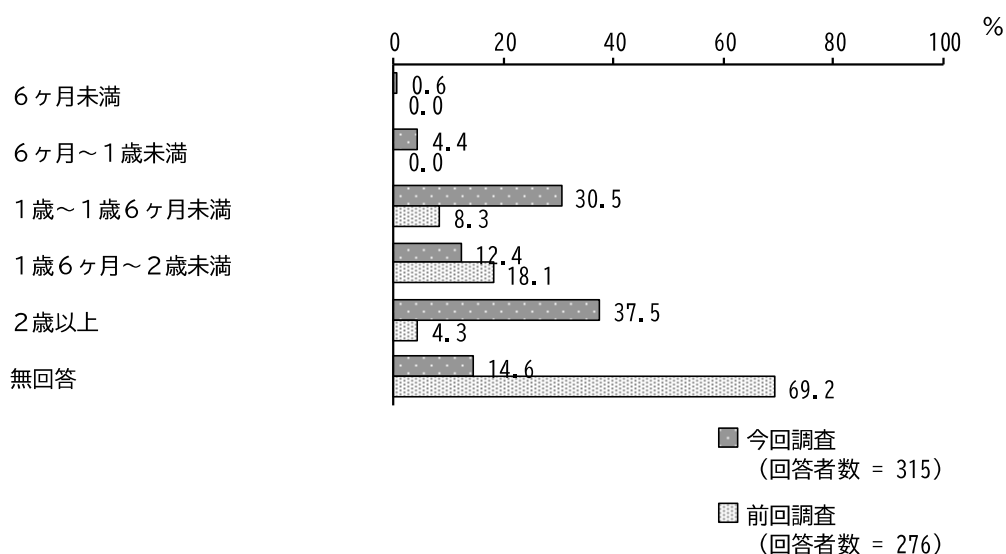
前回調査と比較すると、「2歳以上」の割合が増加しています。



イ. 希望の復帰時期

「2歳以上」の割合が37.5%と最も高く、次いで「1歳～1歳6ヶ月未満」の割合が30.5%、「1歳6ヶ月～2歳未満」の割合が12.4%となっています。

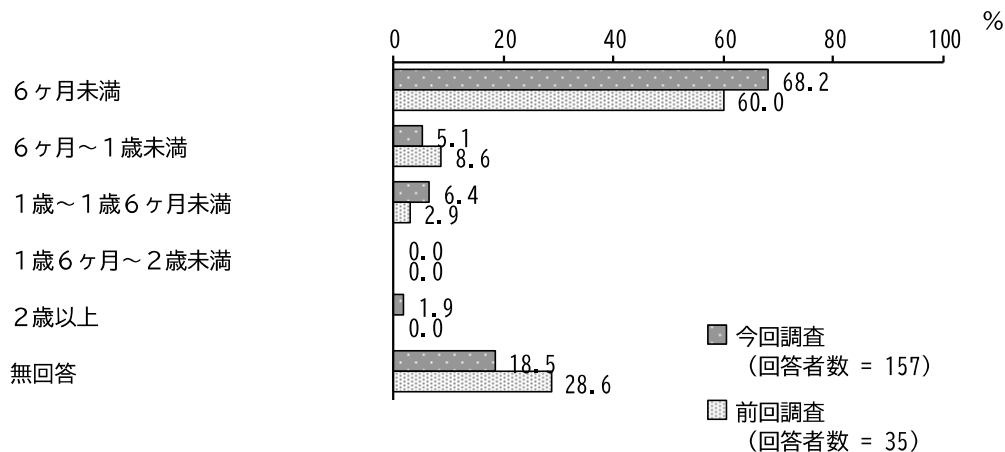
前回調査と比較すると、「1歳～1歳6ヶ月未満」「2歳以上」の割合が増加しています。



②父 親

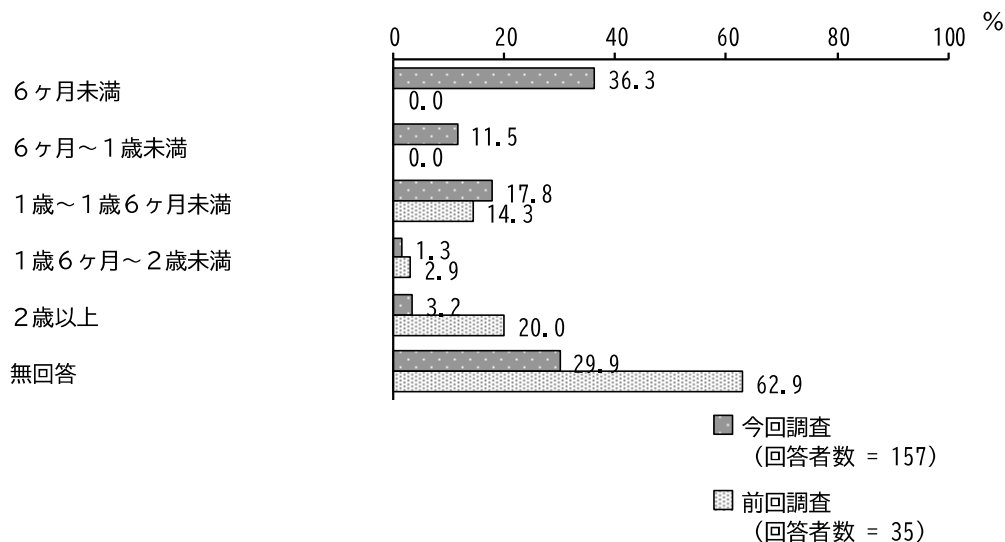
ア. 実際の復帰時期

「6ヶ月未満」の割合が68.2%と最も高くなっています。
 前回調査と比較すると、「6ヶ月未満」の割合が増加しています。



イ. 希望の復帰時期

「6ヶ月未満」の割合が36.3%と最も高く、次いで「1歳～1歳6ヶ月未満」の割合が17.8%、「6ヶ月～1歳未満」の割合が11.5%となっています。
 前回調査と比較すると、「6ヶ月未満」「6ヶ月～1歳未満」の割合が増加しています。一方、「2歳以上」の割合が減少しています。



（５）仕事と子育てを両立するうえで大変なこと〈複数回答〉

【就学前児童：問12－5】【小学生児童：問9－1】

就学前児童では、「自分が病気・けがをしたときや子どもが急に病気になったときに、代わりに面倒をみる人がいない」の割合が70.9%と最も高く、次いで「子どもと接する時間が少ない」の割合が44.8%、「急な残業が入ってしまう」の割合が39.8%となっています。

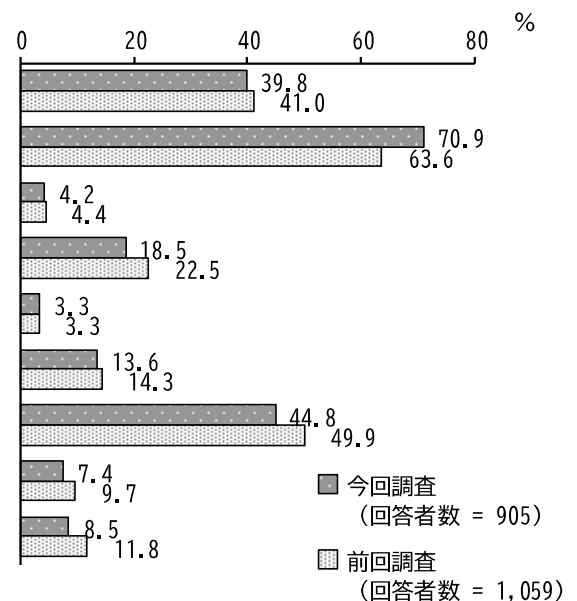
前回調査と比較すると、「自分が病気・けがをしたときや子どもが急に病気になったときに、代わりに面倒をみる人がいない」の割合が増加しています。一方、「子どもと接する時間が少ない」の割合が減少しています。

小学生児童では、「自分が病気・けがをしたときや子どもが急に病気になったときに、代わりに面倒をみる人がいない」の割合が64.6%と最も高く、次いで「急な残業が入ってしまう」の割合が36.9%、「子どもと接する時間が少ない」の割合が36.2%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

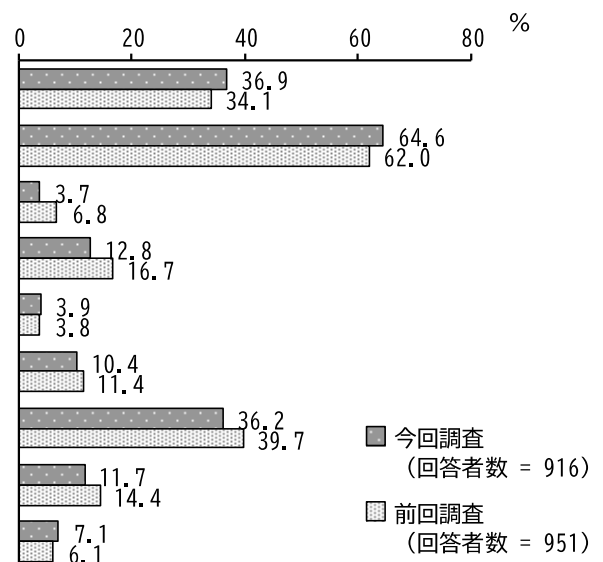
〔就学前児童〕

急な残業が入ってしまう
自分が病気・けがをしたときや子どもが急に病気になったときに、代わりに面倒をみる人がいない
家族の理解が得られない
職場の理解が得られない
子どもの他に面倒をみなければならない人がいる
子どもの面倒をみしてくれる保育所（園）などが見つからない
子どもと接する時間が少ない
その他
無回答



〔小学生児童〕

急な残業が入ってしまう
自分が病気・けがをしたときや子どもが急に病気になったときに、代わりに面倒をみる人がいない
家族の理解が得られない
職場の理解が得られない
子どもの他に面倒をみなければならない人がいる
子どもの面倒をみしてくれる保育所や居場所などが見つからない
子どもと接する時間が少ない
その他
無回答



（６）仕事と子育てを両立するうえで必要なこと〈最大３つまで〉

【就学前児童：問 12－６】【小学生児童：問 9－２】

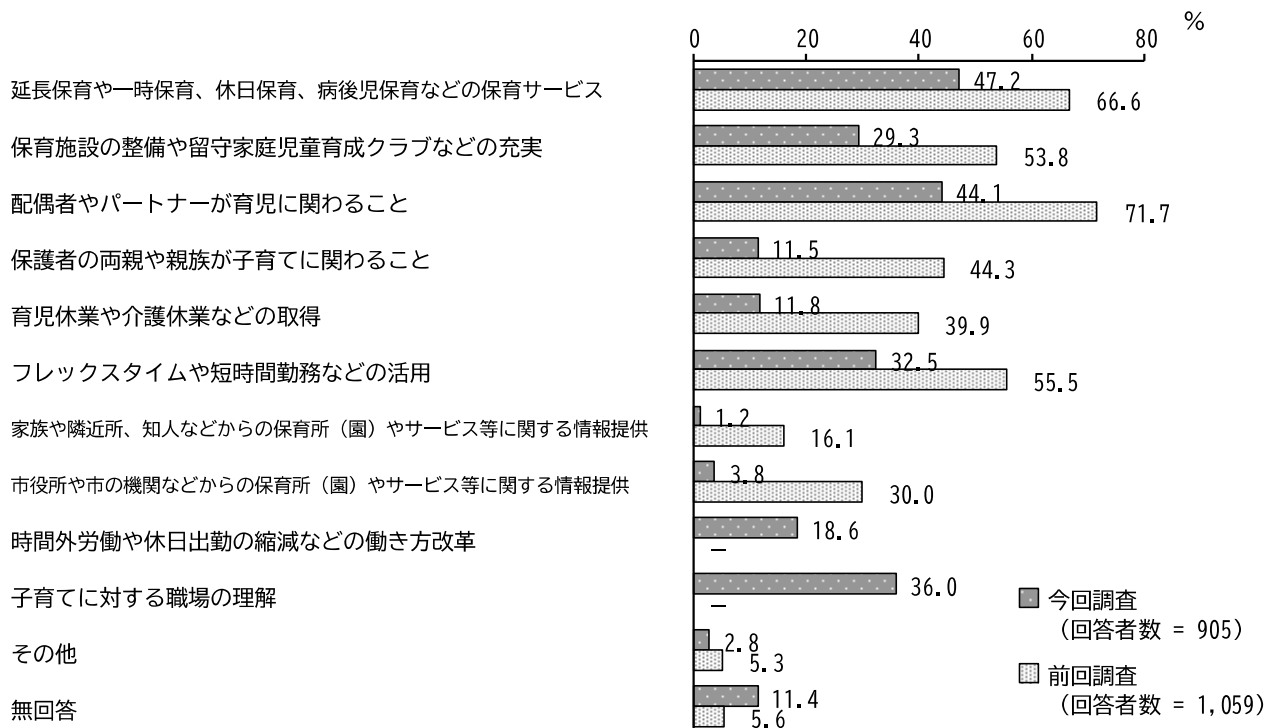
就学前児童では、「延長保育や一時保育、休日保育、病後児保育などの保育サービス」の割合が 47.2%と最も高く、次いで「配偶者やパートナーが育児に関わること」の割合が 44.1%、「子育てに対する職場の理解」の割合が 36.0%となっています。

前回調査と比較すると、「子育てに対する職場の理解」の割合が増加しています。一方、「保護者の両親や親族が子育てに関わること」「育児休業や介護休業などの取得」の割合が減少しています。

小学生児童では、「配偶者やパートナーが育児に関わること」の割合が 48.1%と最も高く、次いで「子育てに対する職場の理解」の割合が 40.0%、「保育施設の整備や留守家庭児童育成クラブなどの充実」の割合が 34.5%となっています。

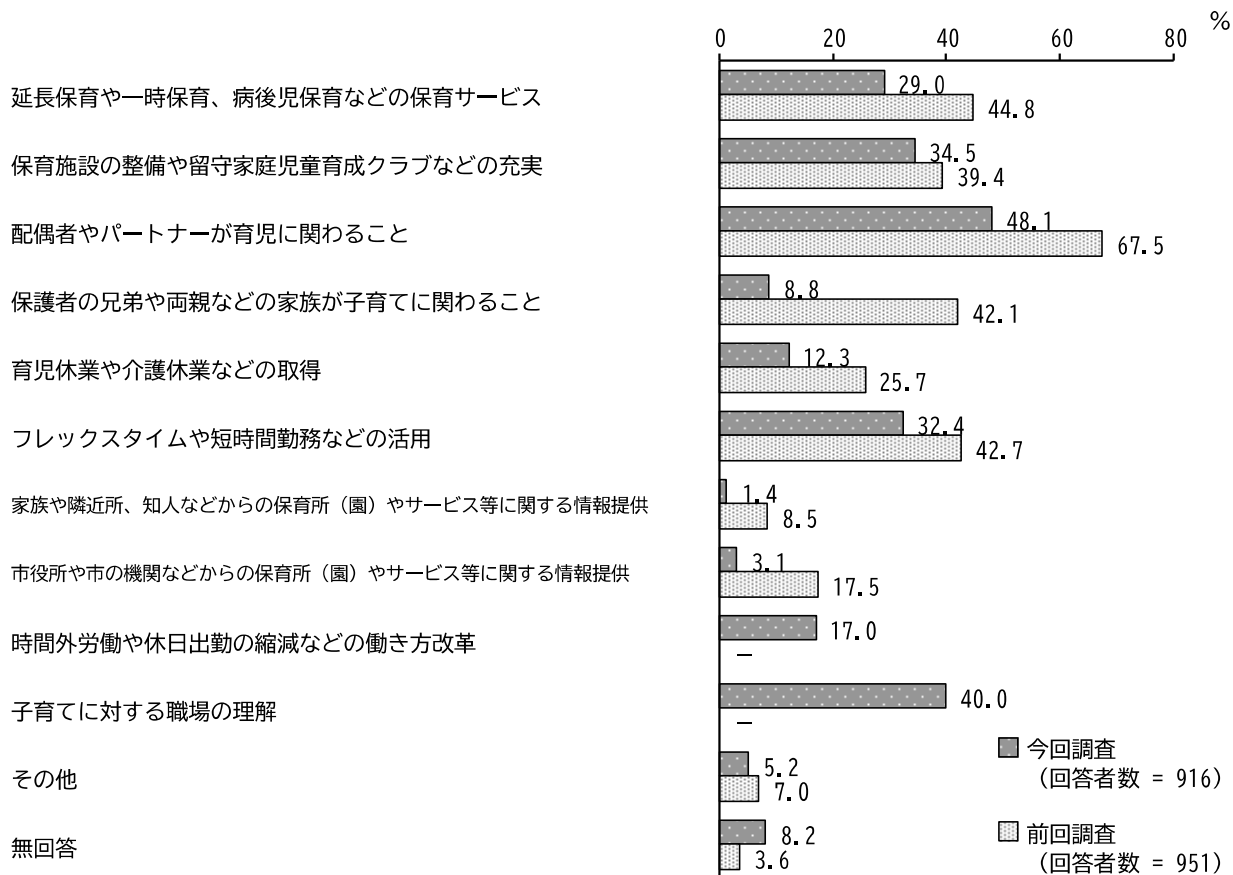
前回調査と比較すると、「時間外労働や休日出勤の縮減などの働き方改革」「子育てに対する職場の理解」を除くすべての項目の割合が減少しています。

〔就学前児童〕



※今回調査では「最大３つまで」、前回調査では「いくつでも」と複数回答数に違いがあるため、割合に差があります。
 ※「保育施設の整備や留守家庭児童育成クラブなどの充実」の選択肢は、前回調査では「認可保育所の整備や留守家庭児童育成クラブなどの充実」でした。また、「配偶者やパートナーが育児に関わること」の選択肢は、前回調査では「配偶者やパートナーが育児に協力してくれること」でした。
 ※前回調査の結果が「—」となっている選択肢は、今回調査で新たに追加された選択肢です。

〔小学生児童〕



※今回調査では「最大3つまで」、前回調査では「いくつでも」と複数回答数に違いがあるため、割合に差があります。

※「保育施設の整備や留守家庭児童育成クラブなどの充実」の選択肢は、前回調査では「認可保育所の整備や留守家庭児童育成クラブなどの充実」でした。また、「配偶者やパートナーが育児に関わること」の選択肢は、前回調査では「配偶者やパートナーが育児に協力してくれること」でした。

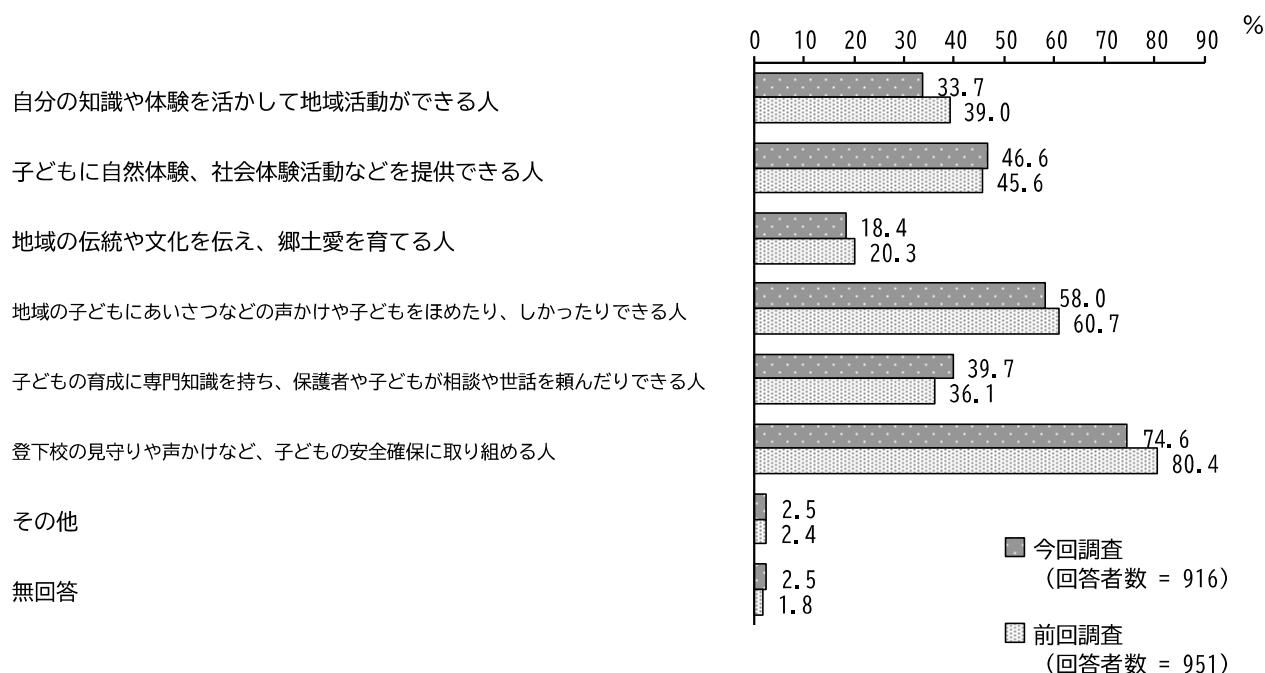
※前回調査の結果が「—」となっている選択肢は、今回調査で新たに追加された選択肢です。

13 地域における子育て支援について

（１）子どもの健全な成長を支えるために、「地域」で特に必要な人〈複数回答〉

【小学生児童：問 10－１】

「登下校の見守りや声かけなど、子どもの安全確保に取り組める人」の割合が 74.6%と最も高く、次いで「地域の子どもにあいさつなどの声かけや子どもをほめたり、しかったりできる人」の割合が 58.0%、「子どもに自然体験、社会体験活動などを提供できる人」の割合が 46.6%となっています。

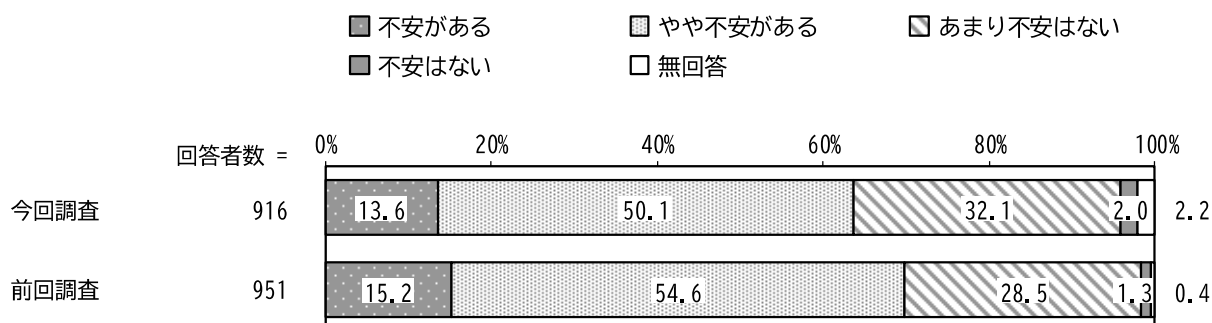


（２）防犯や防災など地域の安全について〈単数回答〉

【小学生児童：問 10－２】

小学生児童では、「やや不安がある」の割合が 50.1%と最も高く、次いで「あまり不安はない」の割合が 32.1%、「不安がある」の割合が 13.6%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

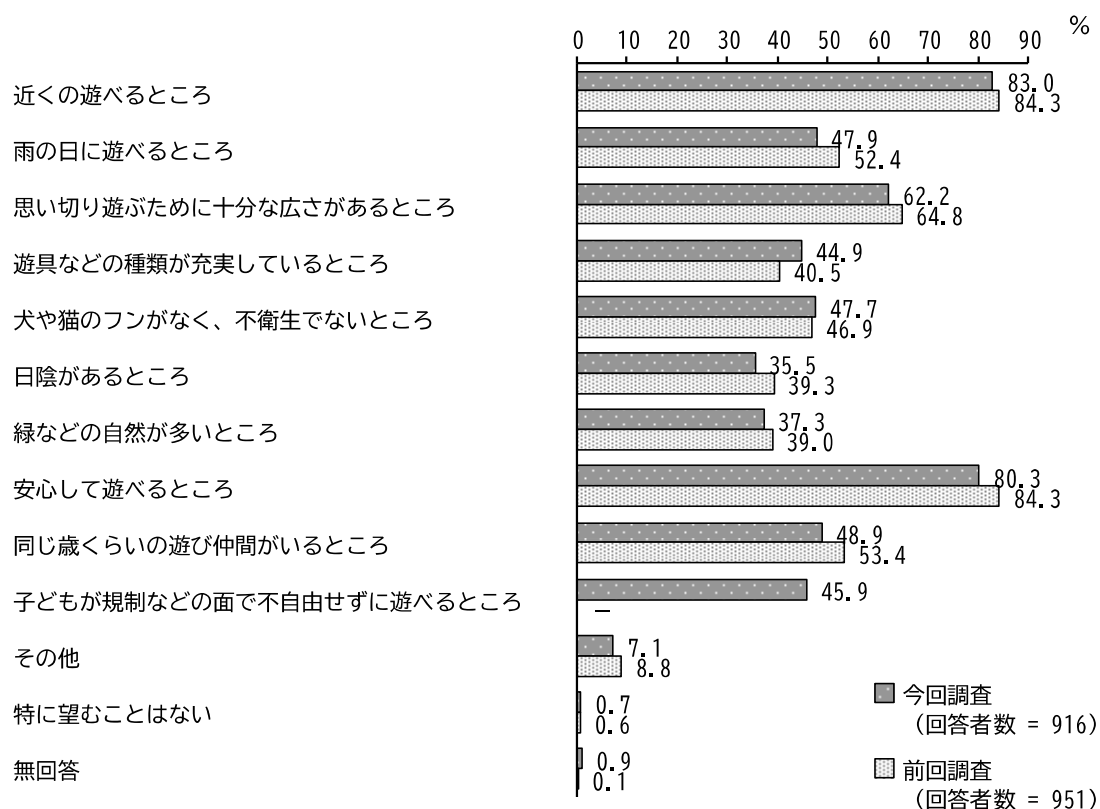


（３）子どもの遊び場について望ましいと思うこと〈複数回答〉

【小学生児童：問 10－３】

小学生児童では、「近くの遊べるところ」の割合が 83.0%と最も高く、次いで「安心して遊べるところ」の割合が 80.3%、「思い切り遊ぶために十分な広さがあるところ」の割合が 62.2%となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。



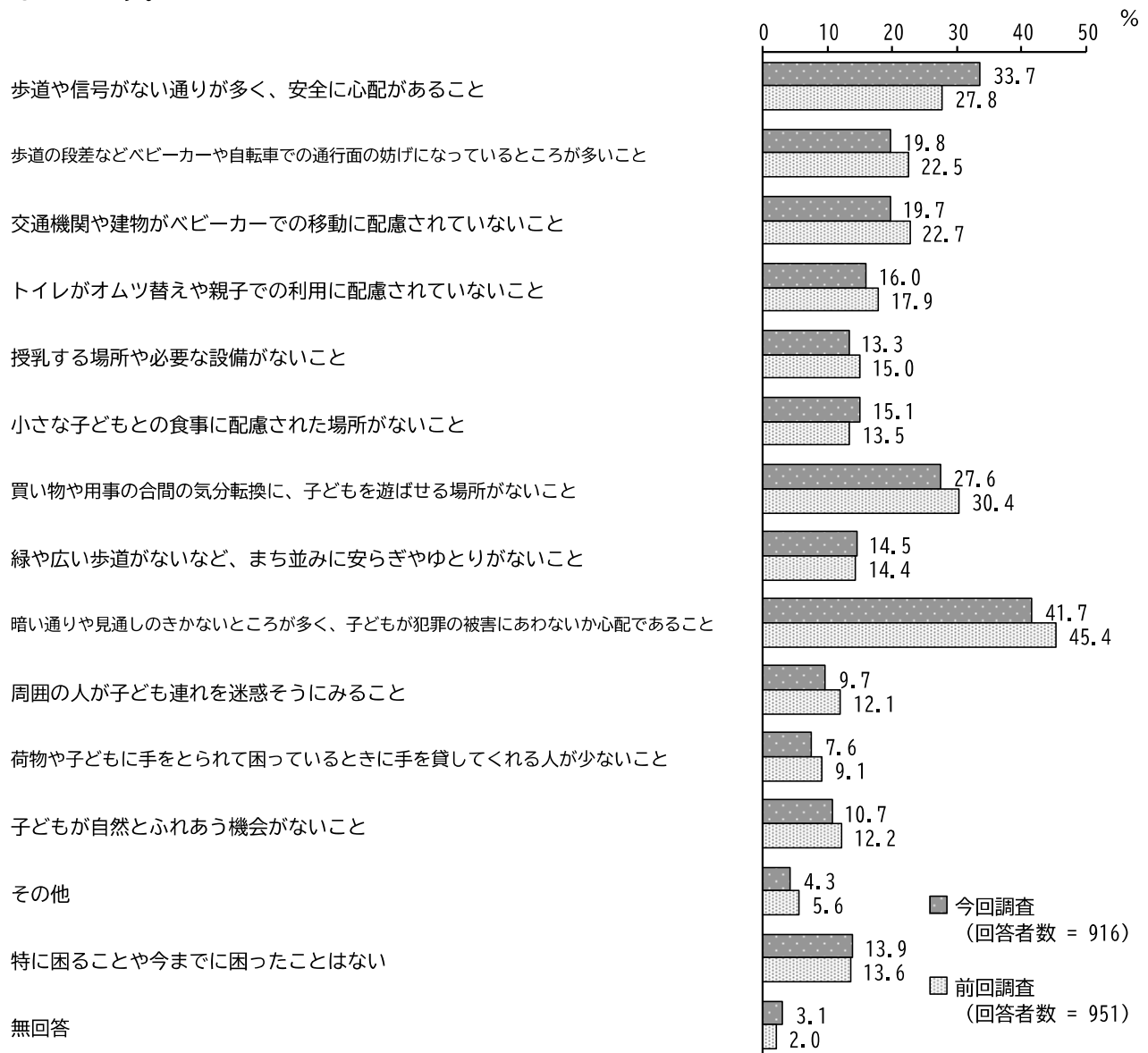
※「子どもが規制などの面で不自由せずに遊べるところ」の選択肢は、今回調査で追加されました。

（４）子どもとの外出の際に困ること、今までに困ったこと〈複数回答〉

【小学生児童：問 10－４】

「暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配であること」の割合が 41.7%と最も高く、次いで「歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること」の割合が 33.7%、「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」の割合が 27.6%となっています。

前回調査と比較すると、「歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること」の割合が増加しています。



14 世帯の経済状況について

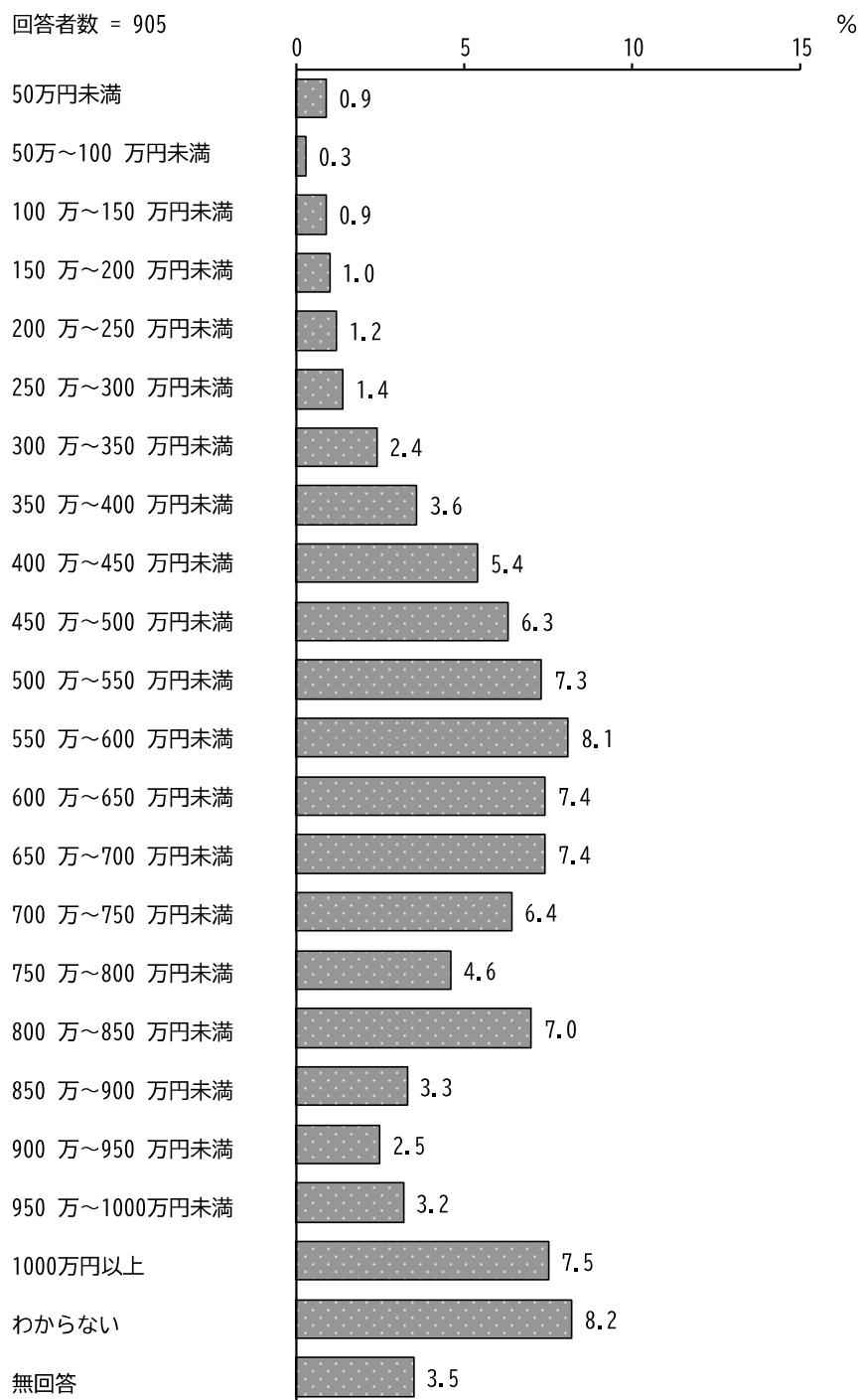
(1) 令和4年(2022年)の家族全員の収入の合計額〈単数回答〉

【就学前児童：問13-1】【小学生児童：問9-2】

就学前児童では、「550万～600万円未満」の割合が8.1%と最も高くなっています。

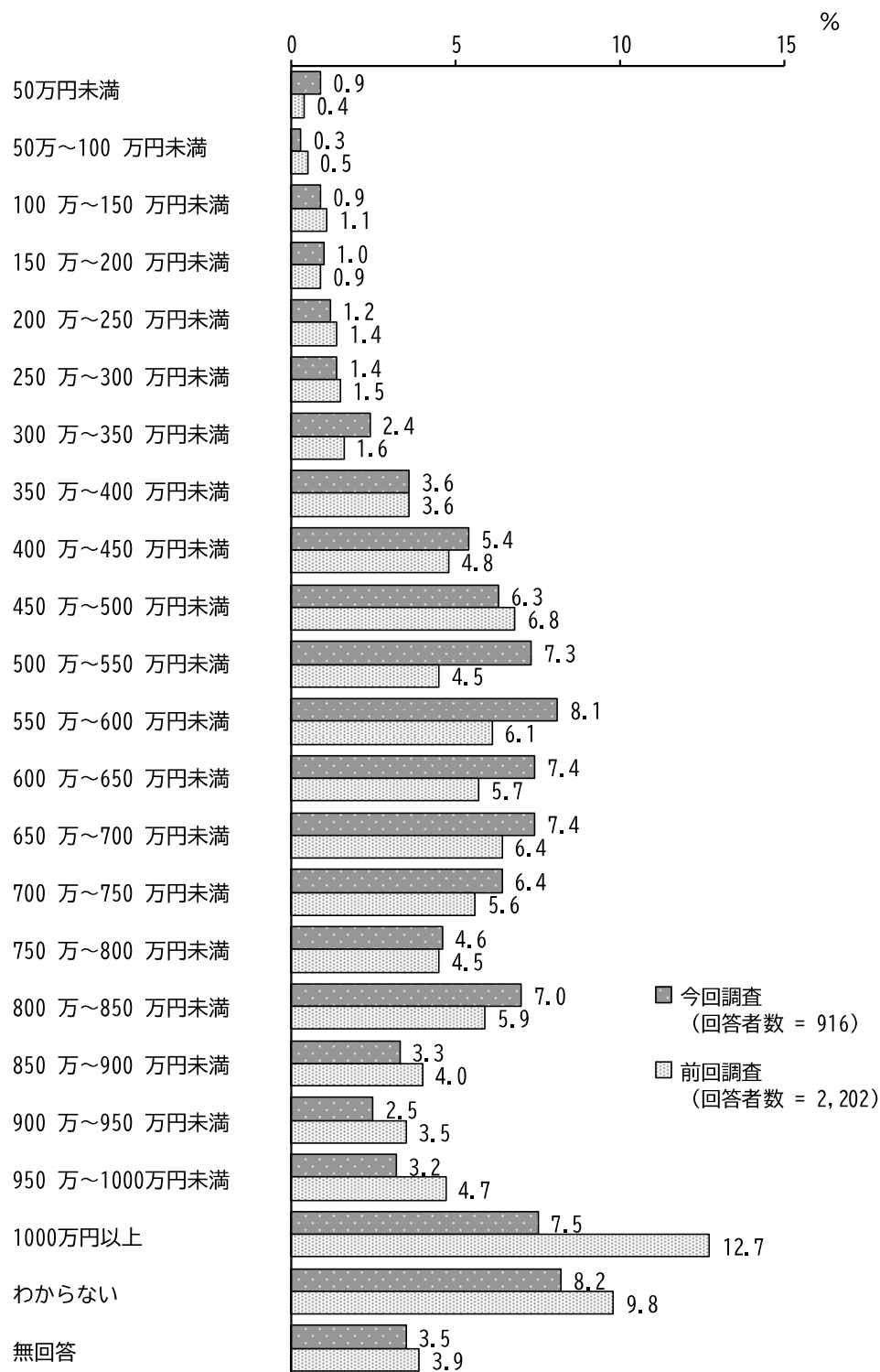
〔就学前児童〕

回答者数 = 905



〔小学生児童〕

小学生児童では、「550 万～600 万円未満」の割合が 8.1%と最も高くなっています。



※前回調査：川西市子どもの生活に関するアンケート調査結果報告書（平成 29 年実施）

※前回調査は小学 5 年生と中学 2 年生の保護者を対象としているため、今回調査と対象が異なります。

15 これからの川西市の子ども・子育てについて

(1) 子育て支援について、川西市でもっと力を入れてほしいもの〈最大3つまで〉

【就学前児童：問 14－1】【小学生児童：問 12－1】

就学前児童では、「子どもだけで安心して遊べる場所づくりをしてほしい」の割合が 45.2%と最も高く、次いで「幼稚園や保育所（園）にかかる費用負担を軽減してほしい」の割合が 35.7%、「経済的支援（市独自の支援など）を充実してほしい」の割合が 30.2%となっています。

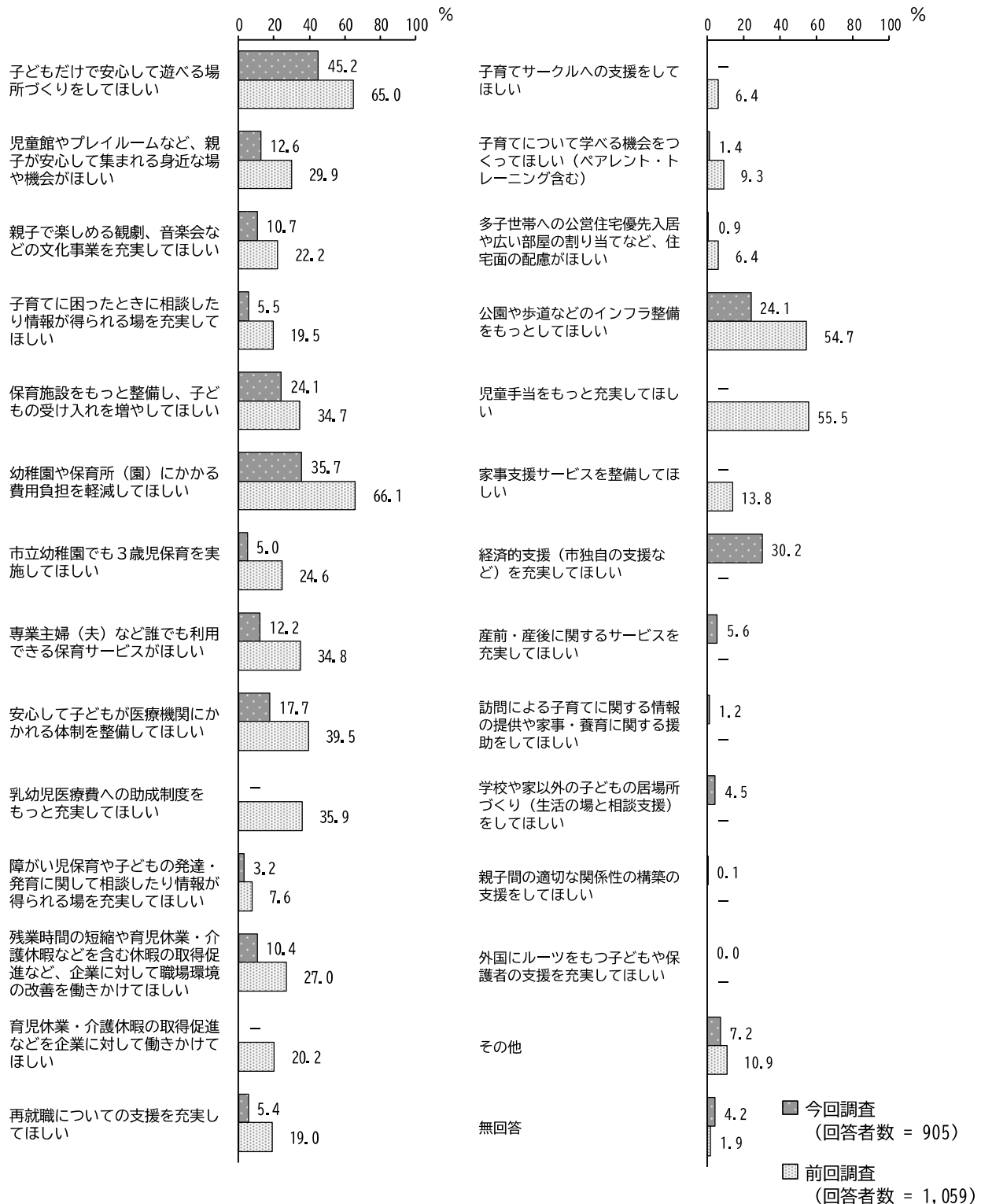
前回調査と比較すると、「子どもだけで安心して遊べる場所づくりをしてほしい」「児童館やプレイルームなど、親子が安心して集まれる身近な場や機会がほしい」「親子で楽しめる観劇、音楽会などの文化事業を充実してほしい」の割合が減少しています。

小学生児童では、「子どもだけで安心して遊べる場所づくりをしてほしい」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい」の割合が 26.9%、「経済的支援（市独自の支援など）を充実してほしい」の割合が 26.4%となっています。

前回調査と比較すると、「子どもだけで安心して遊べる場所づくりをしてほしい」「児童館やプレイルームなど、親子が安心して集まれる身近な場や機会がほしい」「親子で楽しめる観劇、音楽会などの文化事業を充実してほしい」の割合が減少しています。

※今回調査では「最大3つまで」、前回調査では「いくつでも」と複数回答数に違いがあるため、割合に差があります。

【就学前児童】

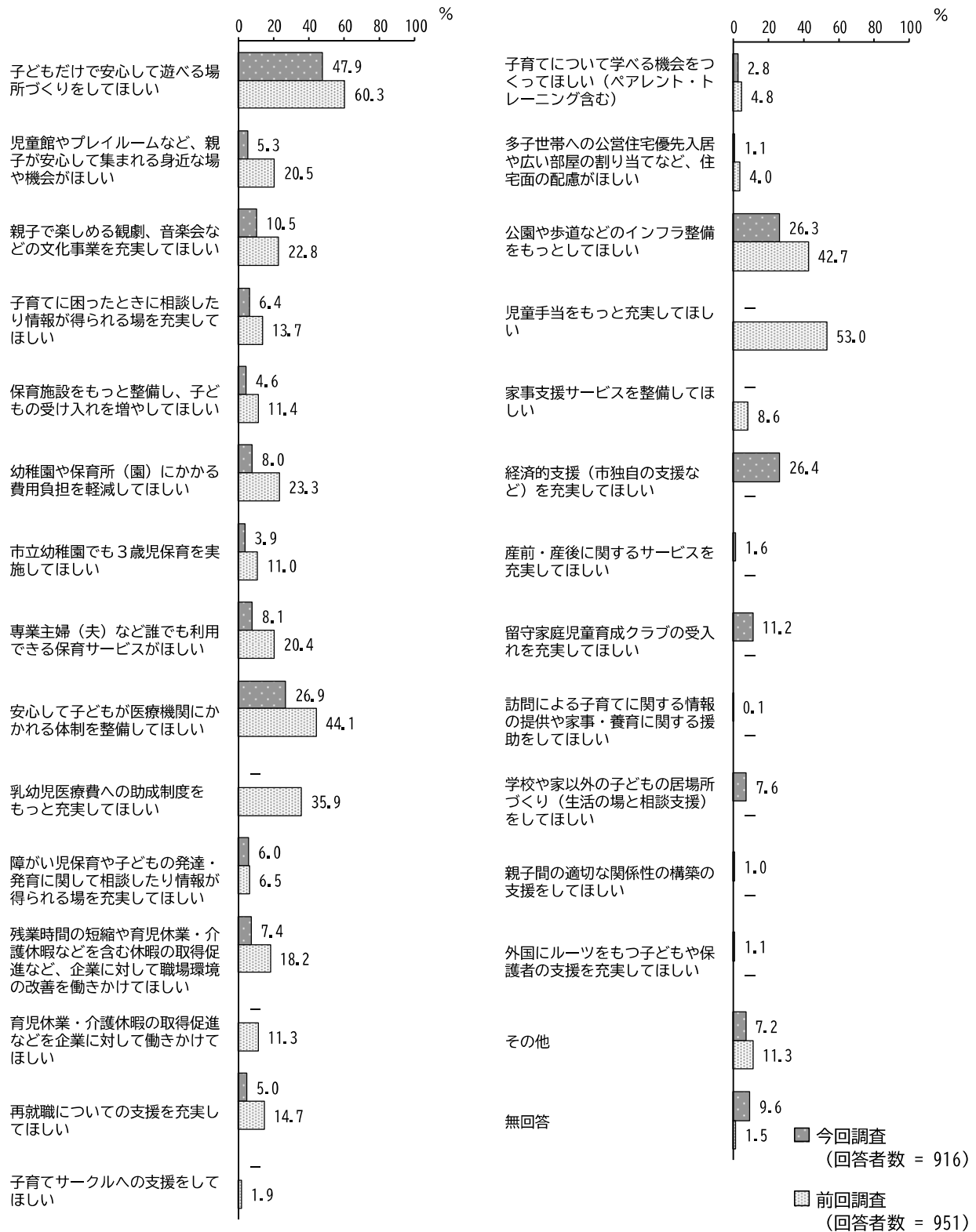


※前回調査の結果が「—」となっている選択肢は、今回調査で新たに追加された選択肢です。

※今回調査の結果が「—」となっている選択肢は、今回調査で削除された選択肢です。

※「児童館やプレイルームなど、親子が安心して集まれる身近な場や機会がほしい」の選択肢は、前回調査では「児童館など、親子が安心して集まれる身近な場や機会がほしい」。また、「保育施設をもっと整備し、子どもの受け入れを増やしてほしい」の選択肢は、前回調査では「認可保育所をもっと整備し、子どもの受け入れを増やしてほしい」、「専業主婦（夫）など誰でも利用できる保育サービスがほしい」の選択肢は、「専業主婦など誰でも利用できる保育サービスがほしい」。「障がい児保育や子どもの発達・発育に関して相談したり情報が得られる場を充実してほしい」は前回調査では障がい児保育を充実してほしい、「公園や歩道などのインフラ整備をもっとしてほしい」は前回調査では「公園や歩道の整備をしてほしい」。

【小学生児童】



※前回調査の結果が「-」となっている選択肢は、今回調査で新たに追加された選択肢です。

※今回調査の結果が「-」となっている選択肢は、今回調査で削除された選択肢です。

※「児童館やプレイルームなど、親子が安心して集まれる身近な場や機会がほしい」の選択肢は、前回調査では「児童館など、親子が安心して集まれる身近な場や機会がほしい」。また、「保育施設をもっと整備し、子どもの受け入れを増やしてほしい」の選択肢は、前回調査では「認可保育所をもっと整備し、子どもの受け入れを増やしてほしい」、「専業主婦（夫）など誰でも利用できる保育サービスがほしい」の選択肢は、「専業主婦など誰でも利用できる保育サービスがほしい」。「障がい児保育や子どもの発達・発育に関して相談したり情報が得られる場を充実してほしい」は前回調査では障がい児保育を充実してほしい、「公園や歩道などのインフラ整備をもっとしてほしい」は前回調査では「公園や歩道の整備をしてほしい」。